ゆいがん　願。願書。

ゆいがんしょ　願書。願書。

ゆいがんしょ　願書。願書。

ゆいがんしょ　願書

ゑいがく　名　漢語。
ゑいがくしゅう　名　漢語。
ゑいがくしゅう　名　漢語。
ゑいがくしゅう

ゑのかぶと　名。ゲンノショウコの別名。

ゑのこぐさ　名。ゲンノショウコの別名。

ゑのこのあし　名。ゲンノショウコの別名。

ゑのこのはな　名。ゲンノショウコの別名。

ゑのこのはなの　名。ゲンノショウコの別名。

ゑのこのはなの　名。ゲンノショウコの別名。

ゑのこのはなの

○ことばのすみにごり

詞のすむとにごるとに、古と今とによりて異なるもあり、また、古のも、今のも、その地方によりて同じからぬもあり。すべてに、古のもいろにぞやきとゆるもあり、今のも、むげにをろしとのみにさざめざさきもあれば、本書によれば、世の常にたがひて、殊に、古とのみにに思ひよらざりしを、さてに、古のによりさりげにみゆるもあるべく、また、今のによりさりげにみゆるもあるべくて、みざりがたしう思されんも、まささらに如何ぞやおぼゆるまゝに、常に、人のおぼつかなう思ふらんとおぼゆる詞どもを、にさゝろづゝ、古書よりぬきいでて、つぎ〳〵にものしさり。みん人、本書のとみあとせて、そのよきあしきをときまへさまへらし。古事記の假字に、清濁たゞしといへれど、語すくなければ、日本書紀、萬葉集のたぐひをも

○もじづかのかな

字音の假字に、古書どもに、殊にきたやらにて、そのかみ、平假字、片假字などの、いまざならりしほど、漢字を、假字のごとく用ひしに、かのいねおをえあの、區別にいふも更にて、地名、人名などに、その韵をもさらにして用ふるに、そのこゝろしらひありて、いねおをえあに、顯鏡のいとゆる開合をもてとらち、韵のなさらきに、鍾山の所屬と深威の所屬とによりてとらてり。されど、その方の事に、こゝにところせくいふべくもあらねば、今に、たゞ、字音の假字のまぢむしきをあぐるにつけて、音韵の變化をたるに便ともなるべき事、さてに、字音の假字の、總括してさとらるべき事ともをとりすべていふべし。

音韵の變化に、すべてに、通音、通韵といふべきなれども、國語の、古言、今言、方言、音便のたぐひ、

とれり。さるは、日本書紀、萬葉集のたぐひの假字は、古事記のごとくきとやらぬのみならず、清音の文字も、濁音の文字も、古事記とは、その文字の同じからぬもあり。まさに、古事記は、清音は用ひざるを、日本書紀、萬葉集のたぐひは、濁音は用ひざるもあり。日本書紀、萬葉集のたぐひは、清濁をかねて用ひざるを、古事記は、一方はさだめざるなどもあれば、今は、まづ、その清濁の假字よりをまへて、次は、詞どもをいざしさ。

清音の假字

か　加迦可古事記、日本書紀、萬葉集　河古事記、日本書紀、萬葉集　箇日本書紀、萬葉集　伽書紀、萬葉集　訶日本書紀、萬葉集

き　吉古事記、日本書紀、萬葉集　伎古事記、日本書紀、萬葉集　幾古事記、日本書紀、萬葉集

濁音の假字

が　我古事記、日本書紀、萬葉集　何古事記、日本書紀、萬葉集　賀萬葉集　餓日本書紀

ぎ　藝古事記、日本書紀、萬葉集　疑日本書紀　擬日本書紀　義日本書紀

字音の、漢音、呉音のたぐひは、類音といふものありて變化する事おほし。類音とは、類似の音といふ事にて、例へば、えの、常は、いのごとくきゝなされ、おの、常は、うのごとくきゝなされる事あるも、えは、いの類音、おは、うの類音なるがゆゑなり。この事は、やう、先輩もいとしごとく、五十音圖のあいうえおにおいていへば、あは中正の音にて、いは開音（開音といふは合音にもいふなり）。また、えは、いに屬して、輕中の重に位し、おは、うに屬して、重中の輕に位し、えの、いに屬するといふは、みな、その音のちかきをいふなり。また、えを、輕中の重といふは、えは、いに、おは、うに、けれども、いといふは、おもに、うに屬しまさに、輕中の輕なるなり。おを、重中の輕なりといふは、うに、けれども、いに屬しまさに、輕中の重なり。次どもの、もとよりかなり同じからざるけれども、けてはていへば、かは、中正の音にて、きは開音、くは合音なり。また、けは、きに屬して、輕中の重に位し、こは、くに屬して、重中の輕に位す。さしすせそたちつてとなど、次々のも、みなこのさだまりなれば、今、五十音圖によりて、本音の下に、その

貴古事記　祇書紀、萬葉集　奇日本書紀　企日本書紀、萬葉集　機萬葉集　氣書紀　祇日本書紀　己

基古事記、萬葉集　既日本書紀　岐書紀　祁書紀　支日本書紀　伎日本書紀

く　岐古事記、萬葉集　寄萬葉集　騎日本書紀　綺日本書紀　久古事記、日本書紀、萬葉集　玖日本書紀　苦日本書紀、萬葉集　句日本書紀　俱日本書紀　區日本書紀　絇日本書紀　矩日本書紀　屢日本書紀　鷗日本書紀　君日本書紀　口日本書紀　九日本書紀、萬葉集　鳩日本書紀、萬葉集

け　氣古事記、日本書紀、萬葉集　祁日本書紀、萬葉集　計日本書紀、萬葉集　鷄日本書紀、萬葉集　家日本書紀、萬葉集　開日本書紀　階日本書紀　概日本書紀　戒日本書紀　該日本書紀　稽日本書紀　凱日本書紀　啓日本書紀　既日本書紀　奚日本書紀　結日本書紀　鷄日本書紀　價日本書紀　介日本書紀、萬葉集

こ　許古事記、日本書紀、萬葉集　去古事記、日本書紀　古日本書紀　故日本書紀　許日本書紀、萬葉集　胡日本書紀、萬葉集　高日本書紀、萬葉集　居日本書紀　虛日本書紀　姑日本書紀　孤日本書紀　巨日本書紀　枯日本書紀　巨日本書紀　渠日本書紀　據日本書紀　固日本書紀　擧日本書紀、萬葉集　巨日本書紀

宣祇萬葉集

ぐ　具古事記、日本書紀、萬葉集　遇日本書紀、萬葉集　愚日本書紀、萬葉集　娛日本書紀　隅日本書紀　求日本書紀、萬葉集

げ　宜古事記、萬葉集　牙古事記、萬葉集　下古事記　礙日本書紀、萬葉集　導日本書紀、萬葉集　曾日本書紀　雅日本書紀　夏萬葉集

ご　其古事記、萬葉集　碁古事記、萬葉集　吾日本書紀、萬葉集　呉日本書紀、萬葉集　語日本書紀、萬葉集　誤日本書紀、萬葉集　御日本書紀、萬葉集　五日本書紀、萬葉集　悟日本書紀　期日本書紀　後萬葉集

類音をあやれば次の如し。

類音
- いエ（あ）
- きケ（か）
- ちテ（た）
- にネ（な）
- ひヘ（は）
- みメ（ま）
- ゐ弐（や）
- りレ（ら）
- ゐエ（わ）

類音
- うオ
- くコ
- すソ
- つト
- ぬノ
- ふホ
- むモ
- ゆヨ
- るロ
- ぐヲ

本音の、類音は變じ、類音の、本音は變ずるは、古言、今言、方言、音便、漢音、呉音などはよりて、常の事なれども、今、そのひとつふたつをいとべ、

漢字は、古は、サヤエといひ、今は、サイといふ。また、古は、ザエといひ、今は、ザイといふ。

さ

佐 沙 古事記 紀 萬葉 日本書紀

左 萬葉 古事記 作 日本書紀

瑳 差 安 舍 日本書紀 萬葉

散 紗 草 柴 萬葉 日本書紀 萬葉

志 斯 師 本古事記 紀 萬葉 日本書紀

之 旨 指 子 詩 日本書紀

之 古事記 萬葉 芝 本古事記 紀 日本書紀 色 古事記 事 思 萬葉

試 始 時 辭 嗣 萬葉 紀

資 繩 施 伺 尸 矢 雖

此 水 次 式 四 詞 偲

事 死 萬葉 萬葉

須 周 書古事記 紀 萬葉 日本書紀 洲 萬古事記 萬葉 州 古事記 事 孫 酒 萬日本書紀 紀 素 清 日本書紀

輸 秀 主 菊 日本書紀

ず

受 古事記 紀 萬葉 日本書紀 儒

ざ

邪 古事記 萬葉 者 古事記 事 社 萬日本書紀 紀 裝 弊 萬葉 射 日本書紀 謝 萬葉 蠶 日本書紀

ま

士 耳 自 古事記 紀 萬葉 日本書紀 餌 貳 兒 茸 萬葉 日本書紀 時 慈 寺 繒 盡 萬葉

○

き ケ

蔕子に、あけびなれども、いにもあり。木に、きなれども、あきびともいへり。東國にて、

し セ

局辭木といふ。地あり。樹に、しびなれども、あせばいひ、今に、あし。球に、古に、むしとも

ち テ

矢うせに、たちやまなれど、てゝともいひ、立て山に、たちやまなれど、常に、たてもやまといふ。

に ネ

松脂に、まつやにといふ。地あり。脂に、まつやになれど、古に、まつやねともいがにとも。

ひ ヘ

蠅に、へなれど、今に、えひといひ、蝿邊に、へべなれど、いにしへ、東國にて、にふなみとも

み メ

鍋に、つみなれど、今に、つめといひ、新管に、ひなめなれど、いにしへ、東國にて、にふなみとも

り レ

檜息に、おとゴれとも、おとゴりにしへ、陸國に、くなれど、いにしへ、東國にて、くなれども

ゑ エ

安行のいゑの例も同じ。

ね エ

衣のふれそなれども、ふれちひて鳴る音を、苔蘚集は、さおくしづみとも、さあくしづみとも

せ

世 書古事記 紀 萬葉 日本書紀 勢 萬葉 葉

西 齊 書日紀本 剤 制 細 栖 萬葉 葉 日本

そ

曾 蘇 書古事記 紀 萬葉 日本書紀 施 萬葉 葉

宗 萬古事記 葉 素 則 所 萬日本書紀 葉 紀 贈 層 泝 萬葉

諸 書日紀本 僧 增 祖 萬葉

た

多 書古事記 紀 萬葉 日本書紀 他 萬古事記 葉 當 記古事 丹 萬葉 日本書紀 拖 萬葉

哆 萬古事記 葉 黨 書日紀本 智 書古事記 紀 萬葉 日本書紀 知 萬古事記 葉 日本書紀 管 書日紀本 致 撥 池 書日紀本 陳 萬葉 日本書紀

恥 萬葉 葉

都 書古事記 紀 萬葉 日本書紀 兎 屠 書日紀本 追 通 萬葉 日本書紀 菟

ち

遲 書古事記 紀 萬葉 日本書紀 地 萬古事記 葉 日本書紀 泥 旋 治 萬葉 日本書紀

賦 書日紀本

豆 書古事記 紀 萬葉 日本書紀 逗 圖 途 頭 萬葉 日本書紀

だ

太 陀 書古事記 紀 萬葉 日本書紀 奪 駄 饌 囊 書日紀本

ぢ

紀 書

ぞ

叙 書古事記 紀 萬葉 日本書紀 俗 萬葉 紀 鋤 茹 序 萬日本書紀 葉

ぜ

是 書古事記 紀 萬葉 日本書紀 筮 鹽 萬日本書紀

づ

萬日本書紀 紀 逗 圖 途

う オ

面向に、うむしとも、おむしとも、いひ、已に、おれとも、うれとも、いへり。

く コ

幾許に、そくむくとも、そこぞくとも、いひ、鍵に、すくやうなるを、今に、

す ソ

眞澄の鏡とも、すみの鏡とも、まそみの鏡とも、いひ、數に、かぞふとも、かずふとも、いへり。

つ ト

語に、今に、あつろふとも、いひ、案山子に、そほどとも、そほどとゴとも、いへり。

ぬ ノ

野に、のにしへに、ぬにしへとも、いひ、布に、古に、ぬのといひ、今に、のといひ、今に、

ふ ホ

合に、ふまるとも、ほまるとも、いひ、音訓に、ことほぐとも、ことぶとも、いふ。

む モ

防人に、さきもりなれど、いにしへ、東國にて、さきもりとも、いへり。

ゆ ヨ

暮に、ゆきなれど、北國にて、よきもりとも、いひ、月夜見尊に、つきよみの尊とも、つくゆみとも、いへり。

る ロ

兄蛭に、あらそるなれど、いにしへ、東國にて、あらそるとも、まろねとも、いひ、顧に、ころとも、いへり。

て

豆 帝 書古 紀事 萬記 葉日 集本

底 堤 萬日 葉本 無書 紀、 歸

題 書日 紀本 提 天 集萬 葉

豆 等 紀、 集萬 斗 刀 日古 本事 書記、

土 萬古 葉事 集記 鄧

妬 苫 社 屠 覩 都 徒

圓 鑑 書日 紀本 澄 得 集萬 葉

と

波 書古 紀事 萬記、 葉日 集本 播

幡 破 萬日 葉本 集書 紀、 絆

簸 幡 巴 書日 紀本 伴 半

盤 薄 芳 方 泊 貌 八

房 集萬 葉

ひ

比 臭 書古 紀事 萬記、 葉日 集本

斐 萬古 葉事 集記、 慈 臂 本日

肥 記古 事 避

書 紀、 集 萬 葉

譬 辟 被 彼 秘 書日 紀本

で

傳 殿 書 紀、 集 記古 事 萬 泥 塗 本日

提 耐 涅 弟

庚 廣 書日 紀本 侶 尼 代 集萬 葉

杼 萬古 葉事 集記 膳 記古 事 紀事 萬記、 葉日 集本

渡 萬日 葉本 集書 紀、 酎 廼

怒 書日 紀本 藤 特 集萬 葉

ど

貌 書古 紀事 萬記、 葉日 集本 麻

摩 麼 磨 魔 書日 紀本

馬 伐 集萬 葉

む

備 書古 紀事 萬記、 葉日 集本 眇

び

鼻 萬日 葉本 集書 紀、 毘 事古

弭 寐 媚 彌 眉 靡

書日 紀本 姚 婢 尾 集萬 葉

ぬ

鬼、うさぎなれど、古へ、ゐさぎとも、いひ、動く、うごくなれど、ゐごくとも、へり。

第一

まさ、漢字をよぶに、齊を、セエのごとくよび、榮華を、エイグワのごとくよび、藤を、オウのごとくよび、消息を、セオソコのごとくよぶたぐひも、みな、音の似るによれり。

一字音の韻は、あいかいゆゐるゐのごとく、いゐを用ふるものあり。この區別は、すべて、あの韻と、えの韻の下とにつくゐ、いゐて、うの韻の下につくゐ、ゐなり。次のごとし。

あい愛　えい榮　うゐ苗

かい皆　けい敬　くゐ蹴

さい菜　せい清　すゐ水

たい態　てい丁　つゐ追

ない內　ねい俊　ゆゐ遺

えい拜　へい兵　るゐ類

まい枚　めい明

非 書古 紀事 萬記、 葉日 集本 飛

必 寶 蘋 集萬 葉

布 書古 紀事 萬記、 葉日 集本 賦

不 古事 紀記、 日本 書 紀、 集萬 葉

輔 起 府 甫

浮 俯 符 書日 紀本 副 粉

負 否 集萬 葉

へ

閉 幣 書古 紀事 萬記、 葉日 集本

篝 剔 陸 萬日 葉本 集書 紀、

平 記古 事 蔽 珮 背 俳

杯 沛 輩 書日 紀本 敝 返

遍 集萬 葉

ほ

富 萬古 葉事 集記、 保 朋 倍

褒 品 萬日 葉本 集書 紀、 本 菩 番

報 袍 譜 書日 紀本 寶 抱

集萬 葉

ふ

夫 書古 紀事 萬記、 葉日 集本 服

文 記古 事 歩 父 矛 部

鳳 書日 紀本 扶 集萬 葉

ぶ

倍 書古 紀事 萬記、 葉日 集本 蓬

陪 萬古 葉事 集記、 紀日 萬本 葉書

謎 集 毎 蓬 書日 紀本 別

便 集萬 葉

べ

頻 書古 紀事 萬記、 葉日 集本

ぼ

古書のさかとも、えとも、○よりひをいひ、すべて、音のさかとなるなり。文字のもつ、ものもしをつけるなり。

あ

ちい雷　れい靈

ていい獄　あい衛

一漢音などよりて、えいけいのごとくよぶ文字の、呉音などよりて、いやういようきやうきようのごとくきてゆるものは、すべて、いやうきやうをもちふ。次のごとし。

えい影　いやう

けい京　きやう

せい生　しやう

てい丁　ちやう

ねい俊　にやう

へい兵　ひやう

めい明　みやう

れい靈　りやう

また、漢音などよりて、かうさうのごとくよぶ文字の、呉音などよりて、きやうきようしやうしようのごとくきてゆるものは、すべて、きやうしやうをもちふ。次のごとし。

あかかがち　赤酸醬　古事記、赤加賀。智

あがく　蹠　古事記、阿賀加爾

あがふ　贖　萬葉集、安賀布

あがつ　斑　古事記、阿宜。臣

あきづ　蜻蛉　古事記、阿岐豆。

あきづしま　蜻蛉洲　古事記、阿岐豆。志麻

あぐら　胡床　古事記、阿具。良

あご　我子　神武紀、阿誤。

あさけ　朝明　萬葉集、安佐。氣

あさと　朝戸　崇神紀、阿佐。妬

あさり　漁　萬葉集、安佐。里

あしかび　葦牙　古事記、阿斯訶備。

あしひき　枕詞　古事記、阿志比紀。

あた　仇　萬葉集、安。多

あぶさふ　遭　萬葉集、安。夫。左波受

あまのがと　天河　萬葉集、安麻能。我。波

ありがよふ　在通　萬葉集、安里。我。欲比

あをくも　青雲　萬葉集、阿乎。久。牟

かう　梗　きやう

さう　莊　ちやう

たう　打　ちやう

ちう　烹　ひやう

まう　猛　みやう

一呉音などよて、ふうこうのごとくよぶ文字の、漢音などよて、いよういやうきようきやうのごとくきこゆるものハ、すべて、いようきようをもちふ。次のごとし。

ふう　鹿　いよう

こう　呉　きよう

そう　嗽　ちよう

とう　澄　ちよう

ほう　鞠　ひよう

また、漢音よて、ふうこうのごとくよぶ文字ハ、呉音よてハ、うくのごとくよぶ事あるをもて、呉音よて、うくよぶものの、漢音の假字ハ、ふうこうなるべきをさとる

あをひとくさ　青人草　神代紀、阿烏比等久。佐

い

いかしほこ　厳矛　舒明紀、伊箇之保。虚

いかるが　斑鳩　雄略紀、伊柯屢我。

いきづく　嘆　古事記、伊岐豆。岐

いきとほる　憤　神功紀、伊岐臨。保流

いくだ　筏　萬葉集、伊久陀。

いくひ　齋杙　古事記、伊久。比

いくり　海石　古事記、伊久。理

いさご　砂　神功紀、異佐誤。

いさつ　泣悲　古事記、伊佐。知流

いさなふ　誘　萬葉集、伊射。奈比

いさよふ　猶豫　萬葉集、伊佐。用布

いざり　漁　萬葉集、伊射。理

いすくし　枕詞　古事記、伊須久。波斯

いちしろし　著　萬葉集、伊知。之。爲久

いつ　我戚　神代紀、伊都。

べし。

おう　盎　う

てう　口　く

そう　逐　す

とう　頭　つ

のう　農　ぬ

ほう　豐　ふ

もう　牟　む

ろう　婁　る

一漢音よて、いゆういう、きゆうきうのごとくよぶ文字ハ、呉音などよてハ、いゆう、きゆくのごとくよぶ事あるをもて、呉音などよて、いゆう、きゆくよぶものの、漢音の假字ハ、いゆういうきゆうきうなるべきをさとるべし。

いゆう　いう　有　いゆう

きゆう　きう　久　きゆく

ちゆう　ちう　周　ちゆす

いづ　殿　古事記、伊豆能賣神
いづへ　殿賀　神武紀、怡途。背
いとむ　挑　古事記、伊杼。美
いむくえ　岩崩　仁德紀、伊波久。叡
いむむしる　石走　萬葉集、伊波婆之佐
いむねつら　草名　萬葉集、伊波爲都。瓦
いふかし　齊恠　萬葉集、伊布。可之
いふかる　訝　萬葉集、言。借
いふせし　鬱悒　萬葉集、伊夫。勢美
いろせ　伊呂兄　古事記、伊呂勢。
いろと　伊呂弟　古事記、伊呂杼。

う

うかかふ　窺　古事記、宇迦々。波久
うかつ　穿　神武紀、于介。知
うかひ　鵜飼　古事記、宇加。比
うかと　鵜川　萬葉集、宇加。波
うがら　親族　神代紀、宇我。羅

ちゆう　ちう　雨
りゆう　りう　留
ちゆつ　りゆる

一入聲の文字の韻は、くきつちふなれば、まどふべくもあらねど、なほ、ふのひとつはまどとしき事あり。法は、漢音はとふ、呉音はほふなれども、和名抄には、玄蕃寮を、保宇之萬比止乃豆加佐とよませて、法師を、保宇之とよませされば、入聲の韻なれども、うを用ひさるべとくなれども、これ、格子を、かうしといへるたぐひにて、たゞ、音便にならざらめていへるものなれば、なべての例にすべきにはあらず。

また、槐字、化字のごとく、字音の中と下とに、とゝのごとくよぶものあり。これ、すべて、ゝを用ひて、とを用ふる事なし。次の例のごとし。

くゝい　槐　くゝう　晃

うずすまる　群集　古事記、宇受。須麻理
うすらび　薄氷　萬葉集、宇須良婢。
うたがた　泡沫　萬葉集、宇多賀。多
うまさけ　甘酒　崇神紀、宇磨佐。開
うもひと　貴人　神功紀、宇摩比。等
うむがし　面向　萬葉集、宇牟我。斯美
うらぐはし　心委　雄略紀、于羅虞。波斯

お

おぎろなし　賺　萬葉集、於。呂奈佐
おくか　奥所　萬葉集、於久。可
おほきみ　大君　推古紀、於保吉。美
おほつかなし　無覺束　萬葉集、於保。束無
おほろか　凡　仁德紀、於保。呂可

か

かがなべて　日並　古事記、加賀。那倍。氐
かがふる　被　萬葉集、加我。布理

くゝく　郁
くゝつ　活
くゝん　親

字音は、常は、鼻音ととなへて、韻は、んとゝねてよぶものあり。うちまらせてゝ、區別もなきやうなれど、古音ともは、舌內、脣內とて、ふさつの別ありてつらひゝけさり。今、そのあらましをいへば、舌內は、舌にふるゝ音にて、なにぬねのそれなれば、そのんは、ぬとかき、脣內は、脣にふるゝ音にて、まみむめもそれなれば、そのんは、むとかけり。さて、その舌內、脣內のゝらちといふは、かの韻鏡の臻山の所屬と、深咸の所屬とにて、臻山とは、真、文、元、寒、刪、先の六韻の文字にて、真は去聲のみ、平聲なれども、上聲は同じ、去聲のみ、平聲なれども、上聲は同じ、この文字は、ぬをもちひ深咸とは、侵、覃、鹽、咸の四韻の文字にて、侵は上聲のみ、去聲は平聲なれども、上聲は同じ、この文字は、むをもちふ。舌內音にて、ぬとかくべきものは、そのぬをと

かを　父　仁賢紀、柯晉。
かそけし　幽　萬葉集、可蘇氣佐
かつがつ　且々　古事記、加都賀都
かづく　潜　古事記、迦豆。佐
かづしか　葛飾　萬葉集、可豆。思加
かづら　鬘　古事記、迦豆。良
かづらく　聲　萬葉集、可豆。良久。
かなき　金木　孝德紀、舸娜紀。
かなたれとき　彼者誰時　萬葉集、加波多禮等。枳
かほとり　顏鳥　萬葉集、可保等。利
かりこも　刈菰　古事記、加理許。母

き

きづき　杵築　出雲風土記、支豆。支

く

くかだち　盟神探湯　允恭紀、區訶。陀。智

さらゝして、なにねのゝもゝちふる事あり。例へば、信字ハ、舌内ヨテ、志ぬとかくべき文字なれば、信濃國と、志なゝもゝちひ、信夫陸奥國の名のと、志のゝもゝちひ、雲字ハ、舌内ヨテ、うぬとかくべき文字なれば、雲梯大和國の名のと、うなゝもゝちひ、雲飛大和國の山の名。萬葉集七の卷ニ、まざすもゝ雲飛山にとゝうねゝもゝちひ、まさ、錢字を、常ヨ、せにとよぶも、舌内ヨテ、せぬとかくべき文字なれバなり。

脣内音ヨテ、むとかくべきものハ、そのむをとさらゝして、まみめもゝもゝちふる事あり。例へば、南字ハ、脣内ヨテ、なむとかくべき文字なれば、印南播磨國の名のと、なみゝもゝちひ、南佐雲出國の名の郷と、なめゝもゝちひ、男字ハ、脣内ヨテ、なむとかくべき文字なれば、男信上野國の郷の名のと、なまゝもゝちひ、曇字は、脣内ヨテ、とむとかくべき文字なれば、恵曇出雲國の郷の名のと、ともゝもゝちひ。

くかへ　探湯釜　允恭紀、玖訶。釜。
くき　釘　萬葉集、久枳。
くくたち　莖立　萬葉集、九久多。知
くづほる　頽　萬葉集、久都。保里

け

けころも　毛衣　萬葉集、毛許。呂裳

こ

ところど　心利　萬葉集、許己呂度。
ところだらひ　心足　萬葉集、許己呂太。良比
こつみ　木積　萬葉集、許都。美
ことさへく　枕詞　萬葉集、言左敞久。
ことつて　言傳　萬葉集、許登都。底
このころ　此頃　萬葉集、己能許。呂

さ

さがし　嶮　古事記、佐賀。斯

また、舌内音のなにぬねのハ、とゝすれば、ちりゝるゝようつしてもゝちふる事あり。例へば、さらゝ特統紀に皇女の名を、霞良とかき、へぐり和大國の名の郷を、平群とかき、すゝ名國を、駿河とかき、さゝぐくを散樂ともかくたぐひのごとし。

○

字音の假字ヨつきてのおほよそハ、上ヨいへるゲごとくなれども、いねおをえあの區別、濁音の志ぢずづのたぐひハ、その文字をみるヨあらでハさとり得べくもあらねば、今ハ、その文字をみる便ヨもとて、常ヨ用ふべき文字と文字をもを、五十音の頭聲ヨついでて、次々ヨあげさり。但し、その文字の韵をむぶきさるハ、てゝヨハ、たゞ、その假字を志めさんのみのすさびなれバなり。

あら　央殃鞅櫻鶯鸚罌櫻以下五字ハ奥音ハ央音ハ奥音なり。奥鴨押歷國
あふ　奥襖媼蔫盎

さかふづく　酒食　古事記佐加美豆久
さくくしろ　枕詞　古事記佐久々斯侶
ささがに　蜘蛛　允恭紀佐瑳餓泥
ささき　鳴鏑　古事記佐邪岐
さされ　小石　萬葉集佐射禮
さすだけ　枕詞　推古紀佐須陀氣
さひづる　唐　萬葉集佐比豆留
さやぐ　颯々　古事記佐夜具
さゐさゐ　物音　萬葉集狭藍左爾
さゐさゐ　物音　萬葉集佐惠佐惠

さ

さかすが　然　萬葉集之可須我
さけてし　醜　古事記志祁去岐
さしくしろ　枕詞　繼體紀矢自矩矢盧
さただみ　細螺　古事記志多陀美
さたむへ　心思　萬葉集之多婆倍
さたび　下樋　古事記斯多備

し

しいは　以異怡易已稽夷肆貽飴詒偽
しいなべ　椎茸　萬葉集之伊奈倍
しいらに　尤郵幽憂優由油柚游遊猶飲飲
しいれ　育昱郁或澳燠
しいく　乙　呉音おつ　一壹逸佚溢伊
しいふ　邑挹揖熠
しいん　殷慇陰音飲陰陰殷以下七字呉音おん
しかけ　因姻茵氤寅湮禋印引蚓胤淫婬
しやう　ようを見るべし。
しゆう　ゆうを見るべし。
しよう　ようを見るべし。
しえ　哀埃愛この三字漢音あい、衣依二字ゑ、漢音い、延要曳叡
しえい　英瑛嬰纓瓔盈楹嬴瀛蠃影郢映
しえん　榮營瑩永詠泳頴穎英以下廿一字ゑ、呉音えい、
しゃう　請曳洩裔泄銳睿叡

したひも　下紐　萬葉集之多婆毛
しなざかる　枕詞　萬葉集之奈謝加流
しほせ　潮瀬　古事記斯本勢
しめところも　染衣　古事記斯米許呂母
しらき　新羅　出雲風土記志羅紀

す

すかく　巣掻　萬葉集須可伎
すがたたみ　菅畳　古事記須賀多々美
すめかみ　皇神　萬葉集須米加禾

せ

せきだく　幾許　萬葉集曾伎太久
せほづ　滿　武烈紀曾哀遲
そほぶね　藷船　萬葉集曾保船
そほふる　雨降　萬葉集曾保零

そ

しゅう　拗漢音ゆう　遙搖謠瑤姚陶要蓼腰
しゅく　曜燿耀夭殀妖久弱幼沓
しゅき　益亦奕易場液腋掖繹驛懌斁役
しゅう　疫益以下、呉音えき、
しゅつ　謁噎咽悅閱
しゅふ　葉靨靨曄燁
しゅん　煙咽宴燕讌醼堰偃鹽炎琰奄淹
しゅう　蒼槍閤貪厭壓黶黯艶廷筵演揚
しゅく　衍羨沿鉛嘉捐娟縁掾兗
しゅう　於游飫意憶億隱磑乙應
しゅう　應漢音おう　謳嘔鷗甌歐
しゅく　憶臆億この三字おく、漢音おく、
しゅつ　乙漢音おつ
しゅん　思般盤磑隱音陰飲殷以下七字おん、漢音いん、
しゅう　高蒿稿鍋高豪膏毫告浩誥皓敷
　　傲嗷鰲羔餻皐翔棹好尻考號鄗
　　昊顥杲暴岡綱剛鋼康穅糠據亢
　　抗吭阮航昂印仰向香鄕强下六卯以

た

たくひれ　栲領巾　續日本紀、多玖。比禮
たたみこも　枕詞　古事記、多々美許。母
ただひき　腕　古事記、多陀。牟岐
たぢひ　虎杖　古事記、多遲。比
たつかづゑ　手束杖　萬葉集、多都可豆惠。
たどほし　遠　萬葉集、多騰。保美
たなそこ　掌　顯宗紀、陀那則。舉
たにぐく　蟾蜍　古事記、多爾具。久
たびころも　旅衣　萬葉集、多比己。呂母
たぶせ　田廬　萬葉集、多夫。世
たぶる　狂　萬葉集、多夫。禮
たまかき　玉垣　古事記、多麻加。岐
たまきぬる　枕詞　古事記、多麻岐。波流
たまくし　玉串　神代紀、多麻倶之
たまぢぬふ　枕詞　萬葉集、雲治。波布
たまほこ　玉鉾　萬葉集、多麻保許

字ハ、漢音ハ、きやう。庚坑行衡更梗鯁硬亨杏蓊幸倖耕耿鏗莖（庚以下十七字ハ、呉音ハ、きやう）蓍殺膠爻交絞效咬郊劫姣校按孝敎巧樂（蓍以下十七字ハ、呉音ハ、けう）江杠肛肛項講巷港降絳（江以下一字ハ、呉音ハ、こう）迎

かふ　狎（呉音あふ）合蛤閤洽恰袷夾峽盍闔甲匣

きう　九鳩仇久灸咎柩臼舊求裘毬救究韭丘糾蚓糾糾穆廐休朽弓躬窮宮（九以下廿八字ハ、呉音ハ、きう）牛（呉音ハ、ぎう）急及汲吸笈給泣翕欽

きふ

きやう　蘿姜彊疆羌强繦卬仰香享向鄕嚮饗響（響以下十六字ハ、呉音ハ、きやう）行杏更梗莖耿（行以下六字ハ、漢音ハ、こう）京卿敬驚擎輕頸景竟境鏡競傾頃兄經形刑（京以下十八字ハ、漢音ハ、けい）匡筐狂誑況晃恍共供拱恭蓋恐蛩邛囚匈胷兇

きよう

ち

ちどやひと　枕詞　古事記、知波夜比。登

つ

つきたち　月頃　萬葉集、月期呂。
つくだ　筑波　古事記、都久波。
つづしる　喂　萬葉集、都豆。之。呂比
つどふ　集　古事記、都度。比
つぬさだふ　枕詞　仁德紀、兎怒瑳破赴
つねひと　常人　萬葉集、都禰。比等
つゆしも　露霜　萬葉集、都由。之。毛
つるむみ　椽　萬葉集、都流。波。美

て

てな　手兒奈　萬葉集、氐。胡。奈
てづくり　調布　萬葉集、氐。豆。久利

顆（共以下十四字ハ、呉音ハ、こう）興（以下四字ハ、呉音ハ、こう）

くう　光晃恍廣曠壙荒肓胱礦宏閎轟

けう　嶢皇惶遑蝗遑篁黃蠻（皇以下九字ハ、呉音ハ、こう）希殺膠爻交絞效咬郊劫姣校按孝敎巧樂（希以下十七字ハ、漢音ハ、きう）喬驕矯嬌橋堯驍曉皎叫竅徼梟翹澆

けふ　業劫怯脅（ケの四字ハ、呉音ハ、こう）叶協夾俠頰莢狹恢篋挾

こう　公蚣空控孔工功紅攻虹貢鴻洪閧口扣叩吼垢苟鉤寇厚侯候喉猴逅溝篝構（公以下三十一字ハ、呉音ハ、こう）后後（后以下二字ハ、呉音ハ、こう）恒姮肯肱薨弘江杠扛舡肛項講巷港降絳閧（恒以下十八字ハ、漢音ハ、こう）興（漢音ハ、きよう）

こふ　業劫怯脅（コの四字ハ、漢音ハ、けふ）

さう　早草阜造慥曹糟漕遭槽操藻燥

と

とがり　鳥狩　萬葉集、登我。里
とことや　常　萬葉集、常登婆。
としころ　年頃　萬葉集、年己。呂
どち　徒　神功紀、子摩臂苫奴。知
とほしろし　遠白　萬葉集、登保之。呂思
とほそく　遠　萬葉集等保曾。吉
とほとほし　遠々　古事記、登富登。富斯
とほひと　遠人　仁德紀等保臂。等

な

ながひと　長人　仁德紀、那餓臂。等
なそふ　準　萬葉集、奈曾。倍
なにむつ　難波津　萬葉集、奈爾波都。
なにはひと　難波人　仁德紀、那珥波臂。苫
なみた　涙　古事記、那美多。
ならひと　奈良人　萬葉集、奈良比。等

讓蚕　掃部　鷹　嫗　艘　竈　巢　掃倉　若　滄　咸
藏　桑　顆　葬　喪　壯　莊　狀　牀　裝　妝　床
相　想　霜　箱　廂　痞　創　爽　鏘　象　像　壯以下十字、漢音、さう、
八字、呉音、さう、漢音、さう、
頂て、呉音、ちやう、呉音、ちやう、
なるもの　錦　倉　爭　錚　靜　箏　錦以下六字、
呉音、ちやう、　搶　稍　鞘　爪　抓　抄　紗　巢　鍬　搶以下九字、呉音、そう、
雙　双　淙　聰　窓　雙以下五字、呉音、そう、
雜　颯　市　車　挿　卅　襲
自示次　祝　辭　慈　事　字　児　寺　侍　時　恃
似　姒　二　貳　耳　餌　珥　皃　爾　尒　邇　而
周　秋　愁　啾　秀　州　洲　酬　囚　曾　遭　收　鄒
捜　蒐　臭　袖　岫　醜　饐　舟　羞　繡　獸　脩　修
首　受　授　皺　就　酒　手　守　狩　袞　粥　周以下三字、
七字、呉音、しう、　柔　蹂　この二字、呉音、じう、
に、呉音、じう、
食　飾　植

に

にこぐさ　和草　萬葉集、爾古。具。左
にひくさ　新草　萬葉集、仁比。久佐

ぬ

ぬえくさ　菖草　古事記、怒延久。佐

ね

ねもころ　懇　萬葉集、根毛許。呂
ねもころごろ　懇　萬葉集、禰母許呂。其。呂

の

のなぐさし　枕詞　允恭紀、波奈具。波辭
のぶる　放、葬　古事記、波夫。利
のらがら　兄弟　續日本紀、波良何。良

熟肉
實日　朋　相
十什　汁　拾　入　習　褶　襲　執　集　緝　楫　葺
輯　濕　濕　陽　襲
神　深　甚　尋　腎　盡　燼　迅　訊　人　仁　刃　忍
仞　壬　任　妊　袵　紝　荏
蛇　虵　邪　闍　謝　麝　若
章　樟　障　彰　昌　唱　菖　倡　娼　尙　商　常　掌
敞　贊　賞　奬　將　漿　醬　漿　醬　詳　祥　庠　翔
匠　餉　傷　觴　殤　上　爭　諍　箏　壯　莊　狀　牀
床　裝　妝　漢音、しやう、　十字、相、湘　象　像
相以下四字、呉音、さう、　襄　讓　穰　壤　攘　釀　清
情　精　請　晴　生　性　姓　牲　旁　笙　正　政　征
証　成　城　誠　盛　淨　靜　井　省　聲　聖　青　晶
星　猩　醒　漢音、せい、　以下三十字、
宗　詩　爺　若　弱
樹　壽　受　授　就　頌　鷲　敎　發　豎　儒　孺　孺
濡　入

とるひ　春日　武烈紀、波流。比
とるとな　春花　萬葉集、波流波。奈

ひ

ひこぼし　彦星　萬葉集、比古保。思
ひとたのかみ　曾長　神武紀、比登誤。廼伽彌
ひなくもり　枕詞　萬葉集、比奈久。母理
ひひく　疹　古事記、比々。久
ひひらき　社谷樹　古事記、比々羅木。

ふ

ふくし　鏡　萬葉集、布久思。
ふなと　帆神　神代紀、布那斗。能加微

へ

ほ

ほく　祝　萬葉集、保久。

ほさく　祝　神代紀、保佐枳

ま

まがつひ　禍津日　祝詞式、麻。我都比。
まかてや　眞鹿兒矢　萬葉集、麻可胡。也
まかね　眞金　萬葉集、麻可。禰
まかなし　眞悲　萬葉集、麻可。奈思美
まかも　眞鴨　萬葉集、麻可。母
まとほ　間遠　萬葉集、麻等。保久
まなて　眞砂　萬葉集、麻奈。波
まへつきみ　公卿　景行紀、麻弊。菟耆。彌

み

みかしほ　枕詞　仁德紀、瀰箇。始報
みがほし　欲見　古事記、美賀。本斯
みつみつし　枕詞　古事記、美都。美都美。都斯
みなそこ　水底　仁德紀、美奈曾。己
みなそそく　枕詞　古事記、美那曾々久。

むゆう　紫絵充樹鑑（紫以下五字、呉音にて、に、絵呉音にて、ゑ）
　　に、從縱主趨戍
むゆく　弱蕪墜
むゆつ　述術秫戌恤
むゆん　淳惇諄醇鶉淮準瑋居循楯閏潤
　　順馴旬巡純遵
むよ　序叙徐舒助鋤想鉏如汝茹茄
むよう　鍾鐘種腫衝越踊松鍾頌從縱蹤
　　春慧椋球（鍾以下十七字、皆呉音にて、宮穴の
　　二字、呉音にて、）彌升昇證勝丞蒸拯承
　　繩澠乘仍
むよく　厚摩裕
むす　受授偏擂裝從
むね　附隨隨瑞蘂
むせう　梢稍抄鈔鑛（梢以下五字、召昭
　　服韶招部留沼紹小少肯宵賞消
　　蛸鎗硝迢焦蕉穂鑛矣椒劍蟾蕉
　　燒繞擾（蕉以下四字、蕭宵嘯遶
　　呉音にて、）

せふ　奏接攝捷睫蹤涉葉焼屑茨
そう　惠蔥總聰驄送菱樓鍵般葉崇宗
　　綜宋走叟極奏鍵襲蔟藪漱嗽（惠以下二十五字、呉音雙双旅聰窓
　　雙以下五字、曾僧增贈憎繒層
　　打椎（この二字、呉音にて、）棹（呉音にて、）橈（呉
　　音にて、）幢（呉音にて、）稻蹈滔韜刀切
　　桃逃到倒道導濤禱陶蔔討島悼
　　盜猛襲姦唐塘儲鑄當堂棠黨儻
　　湯蕩盪宕蕃
たふ　答塔沓踏納（納なし、呉音）榻踏
ぢ　治持痔尼膩除社
ちう　宙抽紬胄丑紐肘紂酎籌儔時畫
　　稠調籌
ぢき　直
ぢく　竺軸舳
ぢつ　帙相躓曜
ぢふ　撥盤

みやつかへ　宮仕　萬葉集宮都。加倍
みやひと　宮人　古事記美夜。比登

む

ひなこと　空言　萬葉集牟奈許。等
むらとり　群鳥　古事記牟良登。理

め

もものだる　枕詞　古事記毛々陀。流
ももちだる　枕詞　古事記毛々知陀。流
もろひと　諸人　萬葉集毛呂比。登

や

やきたち　鋭太刀　萬葉集夜伎多。知
やしまくに　八島國　古事記夜斯麻久。爾
やちほこ　八千矛　古事記夜知富。許

かん　陣沈塵
ちやう　長張帳脹張丈仗杖場暢腸剌鬯
　嬢娘醸釀吳音以下三字に、やう、打たう音の
　貞鄭音このこと二字、漢丁町頂定錠鑽
　鐙停挺漢音以下九字に、てい、
ちやく　着
ちゆう　中仲沖忡忠蟲衷重而に、ちよう、柱
　拄注註駐住株誅蛛附賙頭倫
ちゆつ　朮術
ちよ　除杼篠絮女
ちよう　重冢寵濃醴穠徴懲澄
ちよく　濁
づ　豆頭圖途徒杜
てう　朝潮兆晁召超趙挑眺窕眺迢貂
　調凋蜩鯛彫鳥育烏蔦串條刁釣
　擽鑪鼈尿溺嬈鬧吳尿音以下四字に、
てふ　帖貼蝶疊捻に、吳音輒岳
とう　東棟凍同洞桐銅筒童蓮動鬪僮

ゆ

ゆづるゑ　交讓木　萬葉集由豆流波。
ゆふけ　夕占　萬葉集由布氣。
ゆふへ　夕　萬葉集由布。弊
ゆらかす　搖　古事記由良加。志
ゆらく　搖　萬葉集由良久。

よ

よすか　萬葉集余須可。
よふね　夜船　萬葉集欲布。禰
よろほふ　蹌踉　仁德紀豫呂朋。曩

ら

らくらと　遲遲　萬葉集和久良婆。

ゐ

ゐやひ　堰杙　古事記韋具。比

ぢん　陣沈塵
ちやう　長張帳脹張丈仗杖場暢腸剌鬯
　嬢娘醸釀吳音以下三字に、やう、打たう音の
　貞鄭音このこと二字、漢丁町頂定錠鑽
　鐙停挺漢音以下九字に、てい、
ちやく　着
ちゆう　中仲沖忡忠蟲衷重而に、ちよう、柱
　拄注註駐住株誅蛛附賙頭倫
ちゆつ　朮術
ちよ　除杼篠絮女
ちよう　重冢寵濃醴穠徴懲澄
ちよく　濁
づ　豆頭圖途徒杜
てう　朝潮兆晁召超趙挑眺窕眺迢貂
　調凋蜩鯛彫鳥育烏蔦串條刁釣
　擽鑪鼈尿溺嬈鬧吳尿音以下四字に、
てふ　帖貼蝶疊捻に、吳音輒岳
とう　東棟凍同洞桐銅筒童蓮動鬪僮

ぢう　睡通痛桶漢音以下三字に、とう、帝冬彤
　統豆逗頭鬪斗倫透兜竇豆以下九字に、
　吳音登鐙磴磴鄧藤廉臘等慥に、
　漢音の
なう　腦惱瑙蠖腦漢音以下五字に、
なふ　納衲漢音のこの二字に、
にう　柔漢音のこの二字に、吳音のにゆに、
　乳漢音のこの二字に、吳音のにゆに、
にふ　入漢音の
にやう　嬢娘音のこの二字に、漢
にようう　女
ねう　鐃漢音の鬧漢音の尿溺漢音の
ねふ　捻漢音の
のう　農濃膿能漢音の
ほう　保褒寶報袍暴方芳房昉訪
　防彷坊放旁傍滂膀毛謗冒
　帽茫忙莽蕩亡妄罔望芒邙悵
　漢音の吳音の十六字に、亨烹彭棚四字に、

ま　ほ
ら　ら

毛　之　漢和音似　澁　頂に　ハ下　音のこ　三　帽　冒　帽　ハニ　イ字　法　法　音下　化　と字　ハ、　葬　よハ　ハ十　ど六　葬　ハ矣　也音　亡　ら字　宍　必　望　國　ろの

ま　め　む　も　や　ゆ　よ
ら　ら　ら　ら　ら　同じゆう　同じゆう

明　ハ三　名　や、　命　ら、　ハ、　猛　ら、　音　ハ、　冥　よ漢　音　ハ明　ハ三　棚　ら、　音　ハ、　ハ　以　ハ下　五　れ字　と、　倒　ら、　音　ハ、　ハ字　ハ三　羊　ほ字　廟　ハ、　ハ　以　ハ下　妙　ハ、　ハ字　ハ、　ハ、　洋　ハ、　美　線　恙　央　ら、

細　毛　髦　滋　頂に　ハ下　音のこ　三　帽　帽　ハニ　イ字　法　法　音下　化　と字　ハ、　葬　よハ　ハ十　ど六　葬　ハ矣　也音　亡　ら字　宍　必　望　國　ろの

観　よめ　裏　ど漢　ら、　音　ハ　猛　ら、　音　ハ明　ハ三　棚　ら、　音　ハ、　ハ　以　ハ下　妙　ハ、　ハ字　ハ、　ハ、　洋　ハ、　美　線　恙　央　ら、

陽　ら　影　ら　同じゆう　同じゆう　楊　ら　楊　ら　暢　ら、　音　ハ　猛　ら、　音　ハ明　ハ三　棚　ら、　音　ハ、　ハ　以　ハ下　妙　ハ、　ハ字　ハ、　ハ、　洋　ハ、　美　線　恙　央　ら、

明　ハ三　名　や、　命　ら、　ハ、　猛　ら、　音　ハ明　ハ三　棚　ら、　音　ハ、　ハ　以　ハ下　妙　ハ、　ハ字　ハ、　ハ、　洋　ハ、　美　線　恙　央　ら、

細　毛　髦　滋　頂に　ハ下　音のこ　三　帽　冒　帽　ハニ　イ字　法　法　音下　化　と字　ハ、　葬　よハ　ハ十　ど六　葬　ハ矣　也音　亡　ら字　宍　必　望　國　ろの

ら　り
ら　ら

陸　龍　ゆ　ろ　ハ、　ハ字　ど音　ハ、　ら、　り、　ハ矣　音下　ハ　よハ　ハ、　ら字

留　溜　醪　鑢　ら字　柳　剣　茨　城　常り　ら、　ハ字　ハ、　ハ　ら、　り、　ハ矣　音下　ハ　よハ　ハ、　ら字

拉　老　牢　勞　療　朦　穂　郭　朗　涙　ら字　ハ字　ハ、　ハ　ら、　り、　ハ矣　音下　ハ　よハ　ハ、　ら字

虞　用　用　影　陽　裏　観　明　ハ三　細　毛　之　漢和　ら字　ハ字　ハ、　ハ　ら、　り、　ハ矣　音下　ハ　よハ　ハ、　ら字

隠　百　勇　瓊　楊　帳　ど漢　ら、　音　ハ　猛　ら、　音　ハ明　ハ三　棚　ら、　音　ハ、　ハ　以　ハ下　妙　ハ、　ハ字　ハ、　ハ、　洋　ハ、　美　線　恙　央　ら、

勇　勇　邸　永　場　驤　ら、　音　ハ　猛　ら、　音　ハ明　ハ三　棚　ら、　音　ハ、　ハ　以　ハ下　妙　ハ、　ハ字　ハ、　ハ、　洋　ハ、　美　線　恙　央　ら、

孕　邸　戻ど　傷　場　陽　ど　ハ　猛　ら、　音　ハ明　ハ三　棚　ら、　音　ハ、　ハ　以　ハ下　妙　ハ、　ハ字　ハ、　ハ、　洋　ハ、　美　線　恙　央　ら、

腰　傷　音の　音以　場　音の　黄　ど漢　ら、　音　ハ明　ハ三　棚　ら、　音　ハ、　ハ　以　ハ下　妙　ハ、　ハ字　ハ、　ハ、　洋　ハ、　美　線　恙　央　ら、

福　ハニ　ハ下　ハ三　ハ字　ハ字　ハ、　ハ　ら、　ハ、　ハ　以　ハ下　妙　ハ、　ハ字　ハ、　ハ、　洋　ハ、　美　線　恙　央　ら、

ら　ふ
ら　ら

ほ　ま　ま　ま

りふ　立笠粒

りやう　瓦雨亮粱粱量糧涼諒煉令冷領
　　苓零靈（令以下七字ハ、漢音ハレイ、）

りよう　龍（呉音リウ、）奏陵凌綾楞稜

れう　燎繚療了聊料寮鐐鐐蓼蓼

れふ　獵鬣

ろう　籠瀧朧聾壟弄瓏朧婁樓縷螻鑢
　　鰻蝮髏陋漏

ゐう　王往枉旺汪尪皇凰黄横（皇以下四字ハ、漢音ワウ）泓

ゐ　爲奈位威謂渭偉委萎尉惟維唯
　　帷遺逶悲痛飴遺圍閑慰長胃彙
　　緯葦

ゐき　域棘閾洫

ゐつ　聿鷸

ゐん　尹允勻筠韻殞隕員院

ゐ　隈穢（穢ノ音ノ二字ハ、回會繪淮壞廻
　　回以下六字ハ、漢音ハイ、聿以下漢音ハツ、ハチ、ハツ、ハチ）鴛

ゐい　烏
　　鴛

ゐん　越粤曰鉞嚶

ゐつ　袁遠轅猿園爰援援淫宛苑怨婉
　　鴛垣宛（宛以下十六字ハ、呉音ハエン、）淵援媛圓

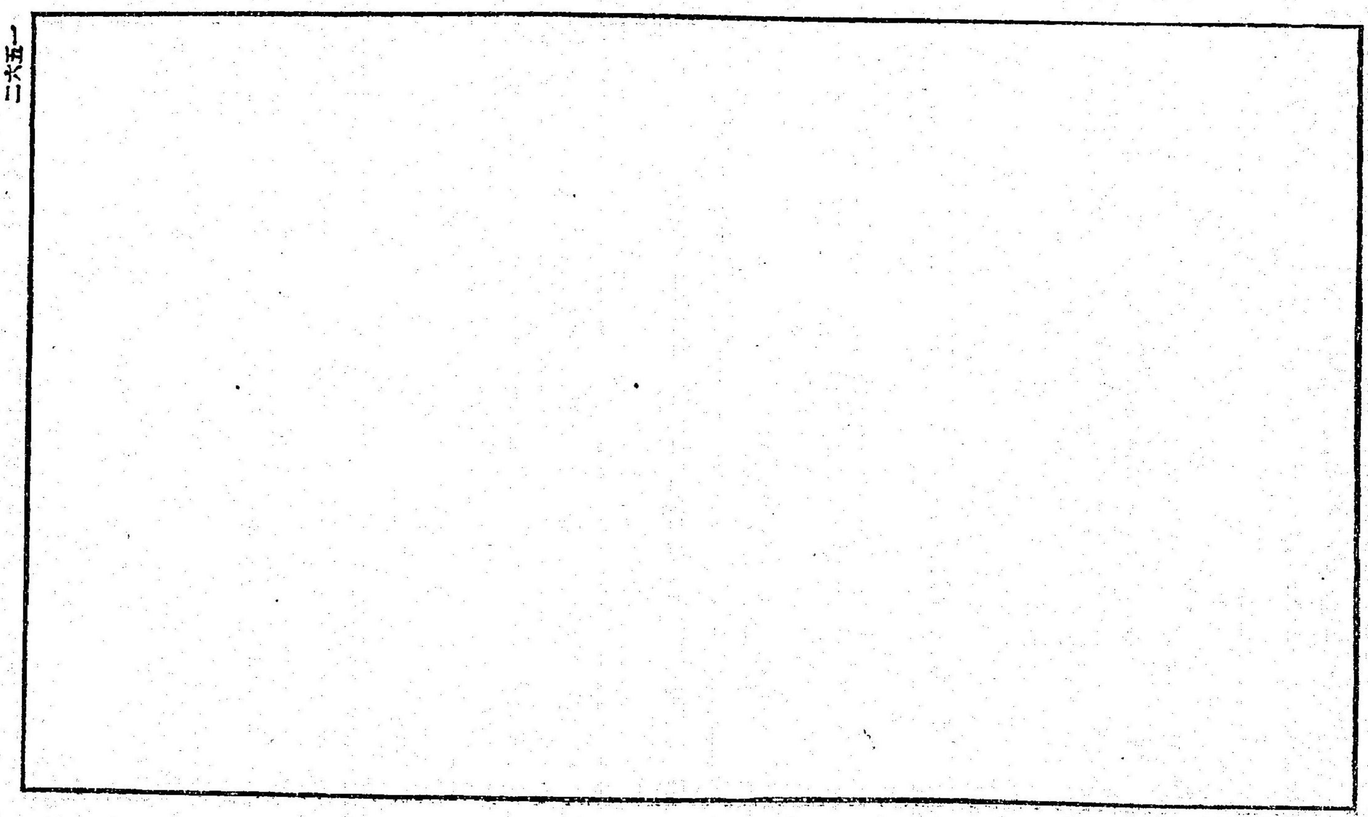
を　袁遠怨烏乎呼嗚塢弘廻日惋迴
　　汗惡

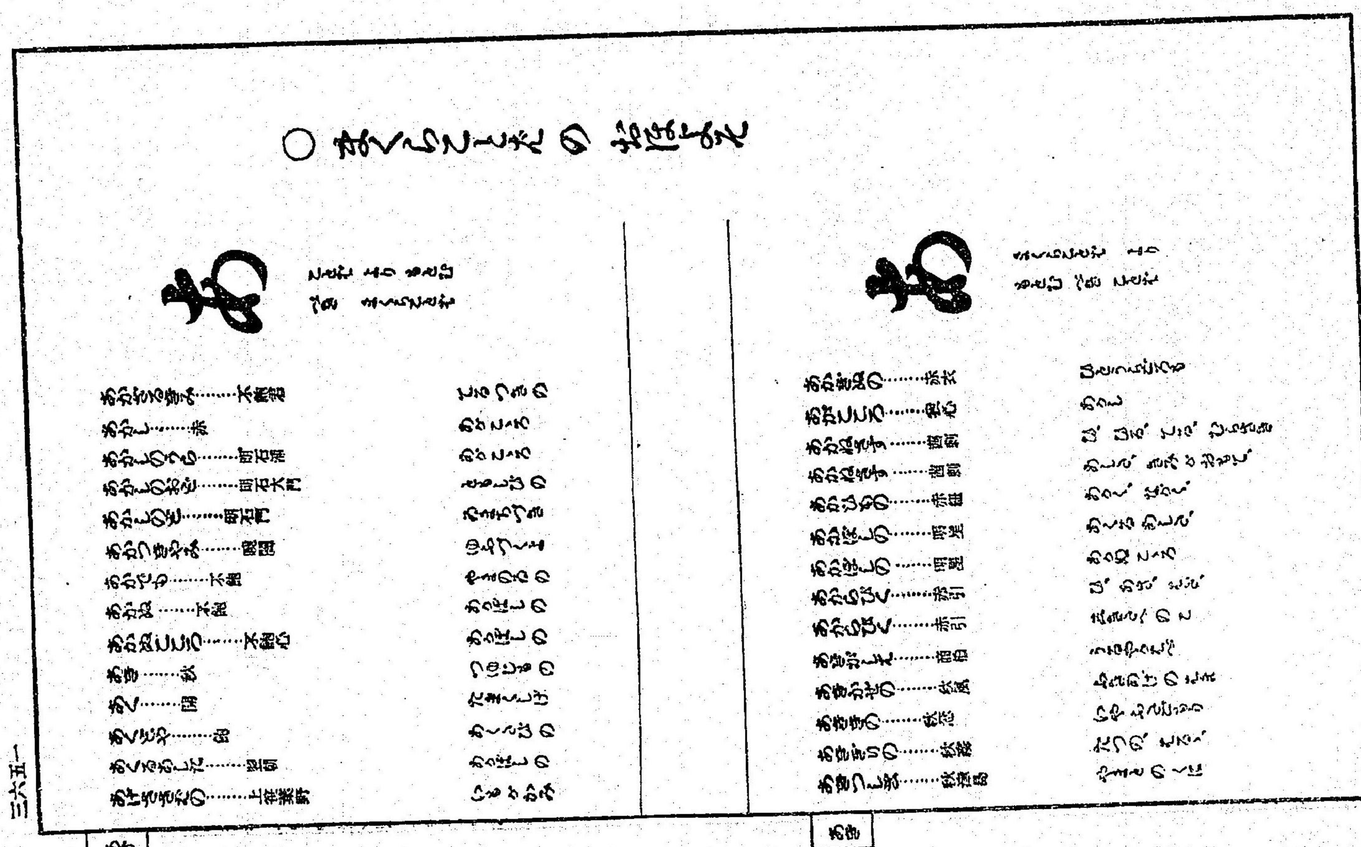
をう　翁甕瓮雄泓媧

をく　屋

をつ　越（漢音ハエツ、）頭膃

をん　温蘊穩袁遠園怨苑菀（宛以下六字ハ、漢音ハエン、）





あか

あかいとり……朝鮮鶴　ちょうせんつる
あかいなか……朝鮮刀　ちょうせんがたな
あかいなし……秋田　ひばり　ひばり
あかいなし……秋茨　ひたち
あかいなし……秋茂　ひたち
あかいなし……秋茨　ひたち
あかいなし……秋田　ひばり　ひばり
あかいなし……秋茨　ひたち
あかいなし……赤火　あかもち
あかいなし……赤衣　あかはだ
あかいなし……朝明　あさつゆ
あかいなし……朝霧　かすみ　もや
あかいなし……朝霧　ちりぬる　ちり
あかいなし……朝霧　おもかげ　ちり
あかいなし……朝霧　いろ　ぬれ　ぬれ
あかいなし……朝霧　おぼ　ぬれ　ぬれ
あかいなし……朝霧　ぬれ　ぬれ　ぬれ
あかいなし……朝霧　ぬれ　ぬれ　ぬれ
あかいなし……朝霧　ぬれ　ぬれ　ぬれ
あかいなし……朝霧　ぬれ　ぬれ　ぬれ
あかいなし……朝霧　ぬれ　ぬれ　ぬれ
あかいなし……朝霧　ぬれ　ぬれ　ぬれ
あかいなし……朝霧　ぬれ　ぬれ　ぬれ
あかいなし……朝日　ひかり　ひかり
あかいなし……朝日　ひかり　ひかり
あかいなし……朝日　ひかり　ひかり

ゆ

ゆうあん……安産
ゆうあんじょう……安産祈願
ゆうい……有意
ゆういつ……唯一
ゆういつむに……唯一無二
ゆうえき……有益
ゆうえきな……有益な
ゆうえん……遊園
ゆうえんち……遊園地
ゆうえんちけん……遊園地券
ゆうえんちのりもの……遊園地乗物
ゆうえんちりょうきん……遊園地料金
ゆうえんちりょうきんけいさん……遊園地料金計算
ゆうえんちりょうきんけいさんしょ……遊園地料金計算書
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかき……遊園地料金計算書の書き
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかた……遊園地料金計算書の書き方
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれい……遊園地料金計算書の書き方の例
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみる……遊園地料金計算書の書き方の例を見る
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみること……遊園地料金計算書の書き方の例を見ること
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、ゆ……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、ゆ
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、ゆう……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、ゆう
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、ゆうい……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、ゆうい
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、ゆういつ……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、ゆういつ
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、ゆういつむ……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、ゆういつむ
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、ゆういつむに……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、ゆういつむに
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、ゆういつむにの……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、ゆういつむにの
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、ゆういつむにのか……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、ゆういつむにのか
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、ゆういつむにのかた……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、ゆういつむにのかた
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、ゆういつむにのかたの……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、ゆういつむにのかたの
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、ゆういつむにのかたのい……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、ゆういつむにのかたのい
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、ゆういつむにのかたのいと……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、ゆういつむにのかたのいと
ゆうえんちりょうきんけいさんしょのかきかたのれいをみることにより、ゆういつむにのかたのいとい……遊園地料金計算書の書き方の例を見ることにより、ゆういつむにのかたのいとい

ま行

まいばら……石橋
まいばら……石橋
まえだ……石橋
まえだ……石橋
まえだ

ちゅう

ちゅうこう……抗菌剤
ちゅうこう……抗鉱
ちゅうこう……抗酸
ちゅうこう……抗酸剤
ちゅうこう……抗酸菌
ちゅうこう……抗酸菌剤
ちゅうこう……抗酸菌検査
ちゅうこう……抗酸菌検査法
ちゅうこう……抗酸菌検査法
ちゅうこう……抗酸菌検査法

ら

らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔
らいはいがん……拝顔

り

りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解
りかい……理解

る

るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居
るすい……留守居

れ

れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀
れいぎ……礼儀

ろ

ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下
ろうか……廊下

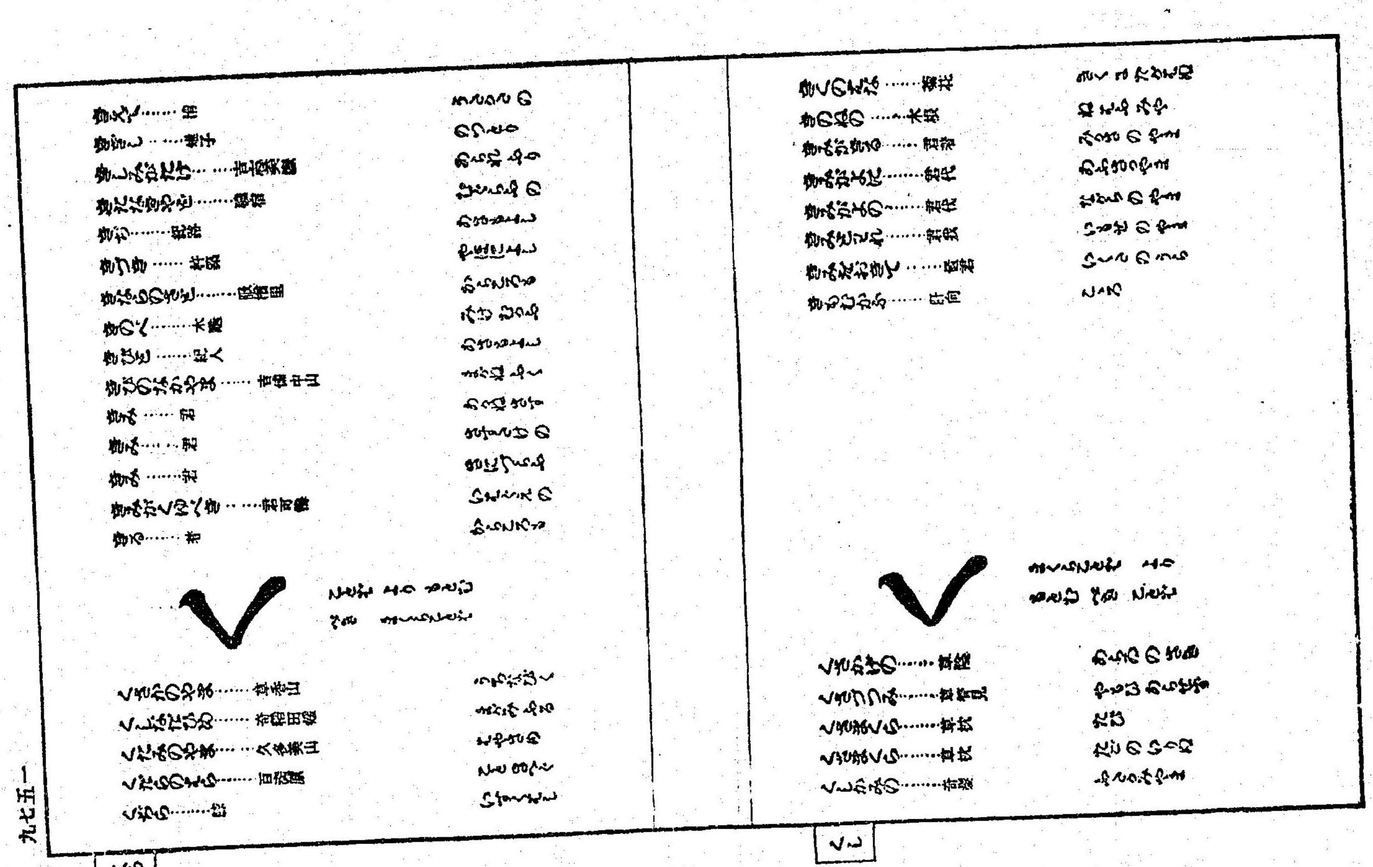
わ

わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い
わかい……若い

おおいたけん……大分県
おおいたし……大分市
おおいなだ……大内田
おおいぬ……犬
おおいぬ……犬
おおいぬ……犬

ゆう

ゆうこう……医学
ゆうこうかい……医学会
ゆうこうかい……医学会
ゆうこうがく……医学
ゆうこうがくぶ……医学部
ゆうこうがくぶ……医学部
ゆうこうがくぶ……医学部



ハ

ハ

ニ

ホ

ヘ

ト

チ

リ

ヌ

ル

ヲ

ぬ

ぬかあめ……雨名
ぬかるみ……泥濘
ぬかるみ……泥濘
ぬかるみ……泥濘

ものりてんぷら　海苔天麩羅
ものりまき　海苔巻
ものりまき　海苔巻
ものりまき　海苔巻

ひ

ひ

ひ

ぬかるみ……泥濘
ぬかる……泥濘
ぬかぶくろ……袋
ぬかぶくろ……袋
ぬかぶくろ……袋

第四

ちゃのこ……茶道
ちゃのこのこと……茶道具
ちゃのこのこと……茶道具
ちゃのこのこと……茶道具

ゆ

ゆうがた　夕方……ゆうがた
ゆうかん　勇敢……ゆうかん
ゆうき　勇気……ゆうき
ゆうしゅう　優秀……ゆうしゅう
ゆうしゅう　憂愁……ゆうしゅう
ゆうしゅう　郵送料……ゆうしゅうりょう
ゆうしゅう　郵便……ゆうびん
ゆうしゅう　郵便局……ゆうびんきょく
ゆうしゅう　郵便……ゆうびん
ゆうしゅう　郵便……ゆうびん
ゆうしゅう　郵便……ゆうびん

ゆうのうこう　雄高……ゆうだか
ゆうのうこう　雄幸……ゆうこう
ゆうのうこう　雄郷……ゆうごう
ゆうのうこう　雄剛……ゆうごう
ゆうのうこう　雄作……ゆうさく
ゆうのうこう　雄志……ゆうし
ゆうのうこう　雄次……ゆうじ
ゆうのうこう　雄治……ゆうじ
ゆうのうこう　雄二……ゆうじ
ゆうのうこう　雄二郎……ゆうじろう
ゆうのうこう　雄二郎……ゆうじろう
ゆうのうこう　雄二郎……ゆうじろう

ゆ

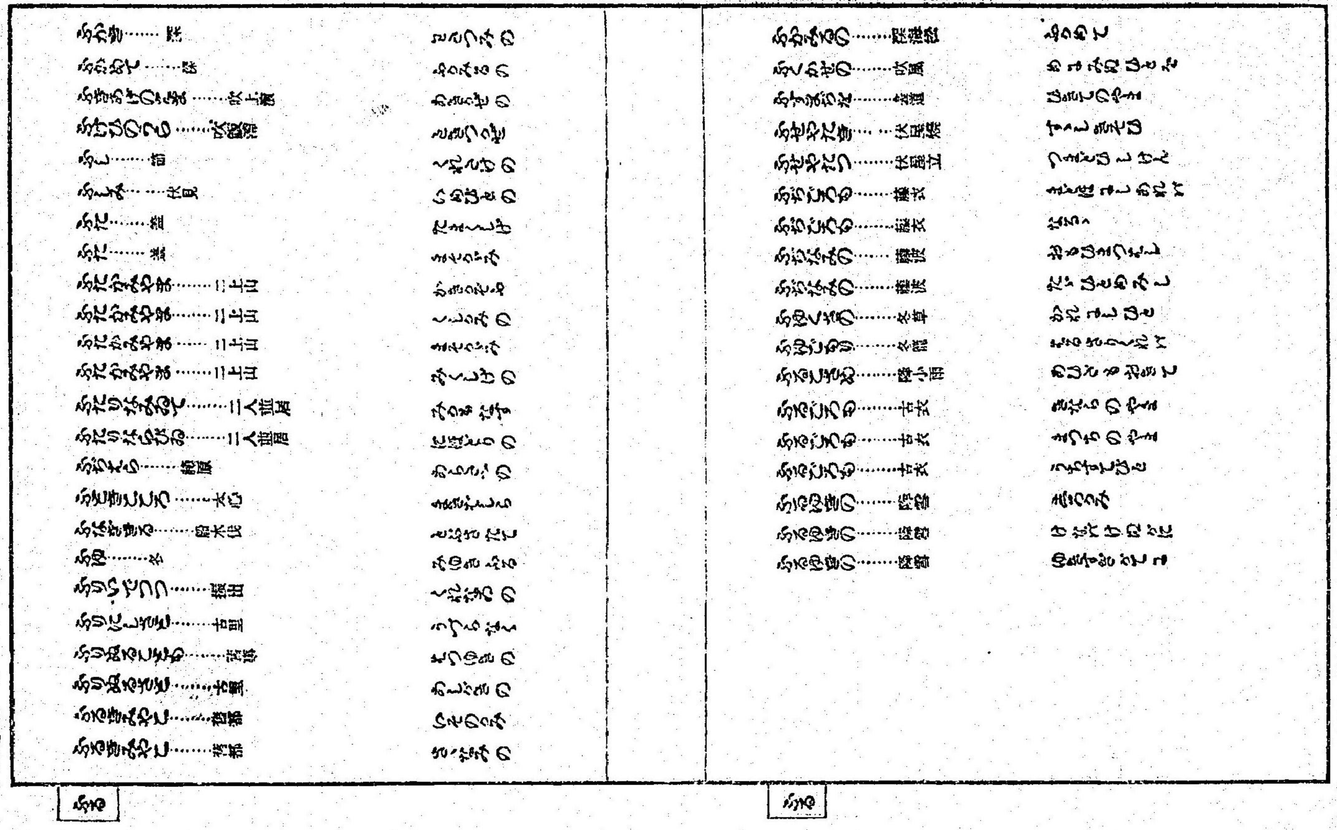
ゆいがはま……由比ヶ浜
ゆいがはまはち……由比ヶ浜八
ゆいがはまはちまん……由比ヶ浜八幡
ゆいがはまはちまんぐう……由比ヶ浜八幡宮
ゆいがはまはちまんぐうのまえ……由比ヶ浜八幡宮の前
ゆいがはまはちまんぐうのまえのこうさてん……由比ヶ浜八幡宮の前の交差点
ゆいがはまはちまんぐうのまえのこうさてんにて……由比ヶ浜八幡宮の前の交差点にて
ゆいがはまはちまんぐうのまえのこうさてんにてはくしゅ……由比ヶ浜八幡宮の前の交差点にて拍手
ゆいがはまはちまんぐうのまえのこうさてんにてはくしゅをする……由比ヶ浜八幡宮の前の交差点にて拍手をする
ゆいがはまはちまんぐうのまえのこうさてんにてはくしゅをすること……由比ヶ浜八幡宮の前の交差点にて拍手をすること
ゆいがはまはちまんぐうのまえのこうさてんにてはくしゅをすること

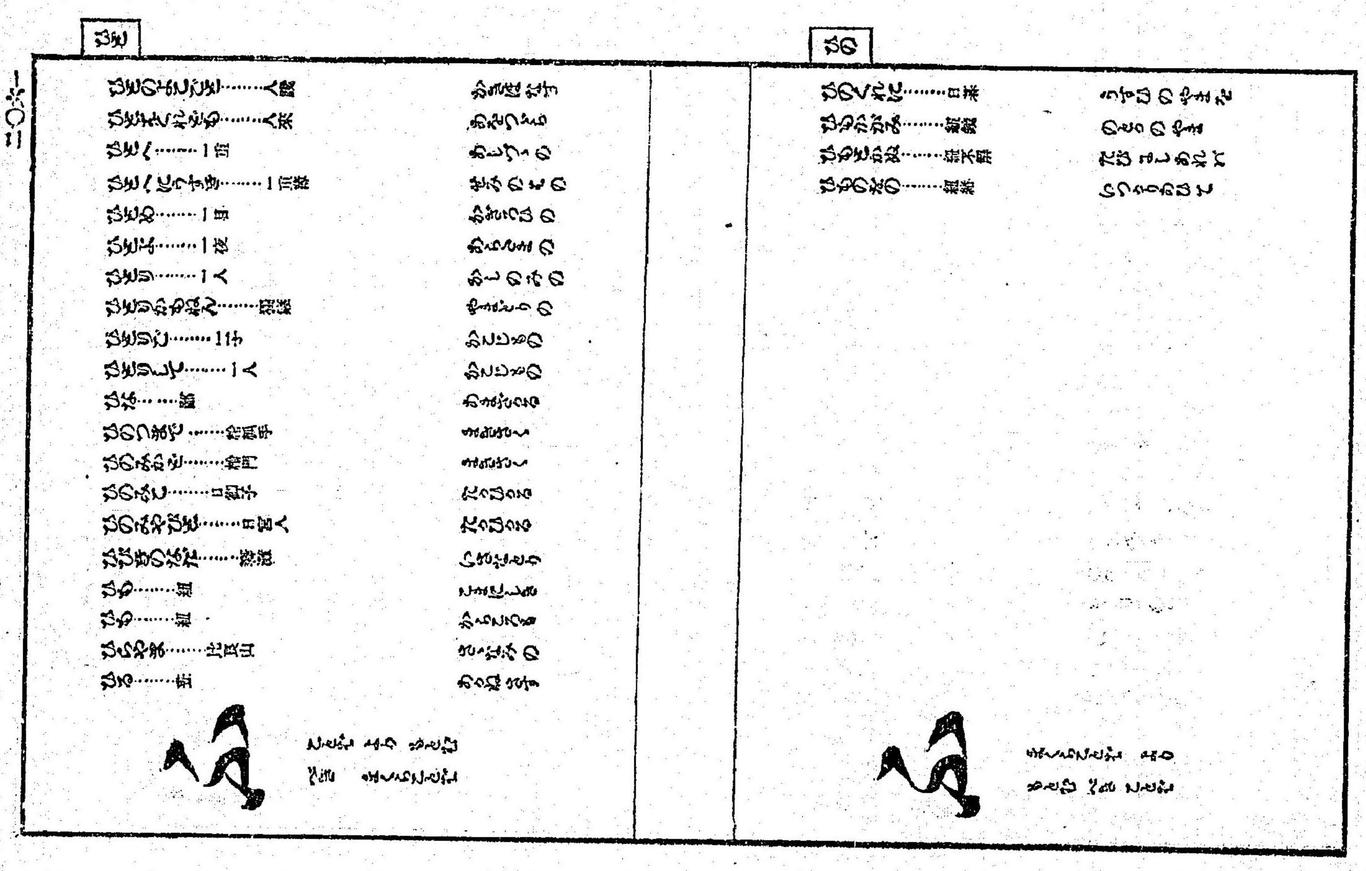
ゆ

ゆうがた……夕方
ゆうがた……夕方
ゆうき……勇気
ゆうしゅう……優秀
ゆうしゅうな……優秀な
ゆうしょう……優勝
ゆうしょう……優勝
ゆうしょう……優勝

巻四

巻頭言	巻一
巻二	巻三
巻四	巻五
巻六	巻七
巻八	巻九
巻十	巻十一
巻十二	巻十三
巻十四	巻十五
巻十六	巻十七
巻十八	巻十九
巻二十	巻二十一
巻二十二	巻二十三
巻二十四	巻二十五
巻二十六	巻二十七
巻二十八	巻二十九
巻三十	巻三十一
巻三十二	巻三十三
巻三十四	巻三十五
巻三十六	巻三十七
巻三十八	巻三十九
巻四十	巻四十一
巻四十二	巻四十三
巻四十四	巻四十五
巻四十六	巻四十七
巻四十八	巻四十九
巻五十	巻五十一
巻五十二	巻五十三
巻五十四	巻五十五
巻五十六	巻五十七
巻五十八	巻五十九
巻六十	巻六十一
巻六十二	巻六十三
巻六十四	巻六十五
巻六十六	巻六十七
巻六十八	巻六十九
巻七十	巻七十一
巻七十二	巻七十三
巻七十四	巻七十五
巻七十六	巻七十七
巻七十八	巻七十九
巻八十	巻八十一
巻八十二	巻八十三
巻八十四	巻八十五
巻八十六	巻八十七
巻八十八	巻八十九
巻九十	巻九十一
巻九十二	巻九十三
巻九十四	巻九十五
巻九十六	巻九十七
巻九十八	巻九十九
巻百	巻百一
巻百二	巻百三
巻百四	巻百五
巻百六	巻百七
巻百八	巻百九
巻百十	巻百十一
巻百十二	巻百十三
巻百十四	巻百十五
巻百十六	巻百十七
巻百十八	巻百十九
巻百二十	巻百二十一
巻百二十二	巻百二十三
巻百二十四	巻百二十五
巻百二十六	巻百二十七
巻百二十八	巻百二十九
巻百三十	巻百三十一
巻百三十二	巻百三十三
巻百三十四	巻百三十五
巻百三十六	巻百三十七
巻百三十八	巻百三十九
巻百四十	巻百四十一
巻百四十二	巻百四十三
巻百四十四	巻百四十五
巻百四十六	巻百四十七
巻百四十八	巻百四十九
巻百五十	巻百五十一
巻百五十二	巻百五十三
巻百五十四	巻百五十五
巻百五十六	巻百五十七
巻百五十八	巻百五十九
巻百六十	巻百六十一
巻百六十二	巻百六十三
巻百六十四	巻百六十五
巻百六十六	巻百六十七
巻百六十八	巻百六十九
巻百七十	巻百七十一
巻百七十二	巻百七十三
巻百七十四	巻百七十五
巻百七十六	巻百七十七
巻百七十八	巻百七十九
巻百八十	巻百八十一
巻百八十二	巻百八十三
巻百八十四	巻百八十五
巻百八十六	巻百八十七
巻百八十八	巻百八十九
巻百九十	巻百九十一
巻百九十二	巻百九十三
巻百九十四	巻百九十五
巻百九十六	巻百九十七
巻百九十八	巻百九十九
巻二百	巻二百一
巻二百二	巻二百三
巻二百四	巻二百五
巻二百六	巻二百七
巻二百八	巻二百九
巻二百十	巻二百十一
巻二百十二	巻二百十三
巻二百十四	巻二百十五
巻二百十六	巻二百十七
巻二百十八	巻二百十九
巻二百二十	巻二百二十一
巻二百二十二	巻二百二十三
巻二百二十四	巻二百二十五
巻二百二十六	巻二百二十七
巻二百二十八	巻二百二十九
巻二百三十	巻二百三十一
巻二百三十二	巻二百三十三
巻二百三十四	巻二百三十五
巻二百三十六	巻二百三十七
巻二百三十八	巻二百三十九
巻二百四十	巻二百四十一
巻二百四十二	巻二百四十三
巻二百四十四	巻二百四十五
巻二百四十六	巻二百四十七
巻二百四十八	巻二百四十九
巻二百五十	巻二百五十一
巻二百五十二	巻二百五十三
巻二百五十四	巻二百五十五
巻二百五十六	巻二百五十七
巻二百五十八	巻二百五十九
巻二百六十	巻二百六十一
巻二百六十二	巻二百六十三
巻二百六十四	巻二百六十五
巻二百六十六	巻二百六十七
巻二百六十八	巻二百六十九
巻二百七十	巻二百七十一
巻二百七十二	巻二百七十三
巻二百七十四	巻二百七十五
巻二百七十六	巻二百七十七
巻二百七十八	巻二百七十九
巻二百八十	巻二百八十一
巻二百八十二	巻二百八十三
巻二百八十四	巻二百八十五
巻二百八十六	巻二百八十七
巻二百八十八	巻二百八十九
巻二百九十	巻二百九十一
巻二百九十二	巻二百九十三
巻二百九十四	巻二百九十五
巻二百九十六	巻二百九十七
巻二百九十八	巻二百九十九
巻三百	巻三百一
巻三百二	巻三百三
巻三百四	巻三百五
巻三百六	巻三百七
巻三百八	巻三百九
巻三百十	巻三百十一
巻三百十二	巻三百十三
巻三百十四	巻三百十五
巻三百十六	巻三百十七
巻三百十八	巻三百十九
巻三百二十	巻三百二十一
巻三百二十二	巻三百二十三
巻三百二十四	巻三百二十五
巻三百二十六	巻三百二十七
巻三百二十八	巻三百二十九
巻三百三十	巻三百三十一
巻三百三十二	巻三百三十三
巻三百三十四	巻三百三十五
巻三百三十六	巻三百三十七
巻三百三十八	巻三百三十九
巻四百	巻四百一
巻四百二	巻四百三
巻四百四	巻四百五
巻四百六	巻四百七
巻四百八	巻四百九
巻四百十	巻四百十一
巻四百十二	巻四百十三
巻四百十四	巻四百十五
巻四百十六	巻四百十七
巻四百十八	巻四百十九
巻四百二十	巻四百二十一
巻四百二十二	巻四百二十三
巻四百二十四	巻四百二十五
巻四百二十六	巻四百二十七
巻四百二十八	巻四百二十九
巻四百三十	巻四百三十一
巻四百三十二	巻四百三十三
巻四百三十四	巻四百三十五
巻四百三十六	巻四百三十七
巻四百三十八	巻四百三十九
巻四百四十	巻四百四十一
巻四百四十二	巻四百四十三
巻四百四十四	巻四百四十五
巻四百四十六	巻四百四十七
巻四百四十八	巻四百四十九
巻五百	巻五百一
巻五百二	巻五百三
巻五百四	巻五百五
巻五百六	巻五百七
巻五百八	巻五百九
巻五百十	巻五百十一
巻五百十二	巻五百十三
巻五百十四	巻五百十五
巻五百十六	巻五百十七
巻五百十八	巻五百十九
巻五百二十	巻五百二十一
巻五百二十二	巻五百二十三
巻五百二十四	巻五百二十五
巻五百二十六	巻五百二十七
巻五百二十八	巻五百二十九
巻五百三十	巻五百三十一
巻五百三十二	巻五百三十三
巻五百三十四	巻五百三十五
巻五百三十六	巻五百三十七
巻五百三十八	巻五百三十九
巻五百四十	巻五百四十一
巻五百四十二	巻五百四十三
巻五百四十四	巻五百四十五
巻五百四十六	巻五百四十七
巻五百四十八	巻五百四十九
巻六百	巻六百一
巻六百二	巻六百三
巻六百四	巻六百五
巻六百六	巻六百七
巻六百八	巻六百九
巻六百十	巻六百十一
巻六百十二	巻六百十三
巻六百十四	巻六百十五
巻六百十六	巻六百十七
巻六百十八	巻六百十九
巻六百二十	巻六百二十一
巻六百二十二	巻六百二十三
巻六百二十四	巻六百二十五
巻六百二十六	巻六百二十七
巻六百二十八	巻六百二十九
巻六百三十	巻六百三十一
巻六百三十二	巻六百三十三
巻六百三十四	巻六百三十五
巻六百三十六	巻六百三十七
巻六百三十八	巻六百三十九
巻六百四十	巻六百四十一
巻六百四十二	巻六百四十三
巻六百四十四	巻六百四十五
巻六百四十六	巻六百四十七
巻六百四十八	巻六百四十九
巻七百	巻七百一
巻七百二	巻七百三
巻七百四	巻七百五
巻七百六	巻七百七
巻七百八	巻七百九
巻七百十	巻七百十一
巻七百十二	巻七百十三
巻七百十四	巻七百十五
巻七百十六	巻七百十七
巻七百十八	巻七百十九
巻七百二十	巻七百二十一
巻七百二十二	巻七百二十三
巻七百二十四	巻七百二十五
巻七百二十六	巻七百二十七
巻七百二十八	巻七百二十九
巻七百三十	巻七百三十一
巻七百三十二	巻七百三十三
巻七百三十四	巻七百三十五
巻七百三十六	巻七百三十七
巻七百三十八	巻七百三十九
巻七百四十	巻七百四十一
巻七百四十二	巻七百四十三
巻七百四十四	巻七百四十五
巻七百四十六	巻七百四十七
巻七百四十八	巻七百四十九
巻八百	巻八百一
巻八百二	巻八百三
巻八百四	巻八百五
巻八百六	巻八百七
巻八百八	巻八百九
巻八百十	巻八百十一
巻八百十二	巻八百十三
巻八百十四	巻八百十五
巻八百十六	巻八百十七
巻八百十八	巻八百十九
巻八百二十	巻八百二十一
巻八百二十二	巻八百二十三
巻八百二十四	巻八百二十五
巻八百二十六	巻八百二十七
巻八百二十八	巻八百二十九
巻八百三十	巻八百三十一
巻八百三十二	巻八百三十三
巻八百三十四	巻八百三十五
巻八百三十六	巻八百三十七
巻八百三十八	巻八百三十九
巻八百四十	巻八百四十一
巻八百四十二	巻八百四十三
巻八百四十四	巻八百四十五
巻八百四十六	巻八百四十七
巻八百四十八	巻八百四十九
巻九百	巻九百一
巻九百二	巻九百三
巻九百四	巻九百五
巻九百六	巻九百七
巻九百八	巻九百九
巻九百十	巻九百十一
巻九百十二	巻九百十三
巻九百十四	巻九百十五
巻九百十六	巻九百十七
巻九百十八	巻九百十九
巻九百二十	巻九百二十一
巻九百二十二	巻九百二十三
巻九百二十四	巻九百二十五
巻九百二十六	巻九百二十七
巻九百二十八	巻九百二十九
巻九百三十	巻九百三十一
巻九百三十二	巻九百三十三
巻九百三十四	巻九百三十五
巻九百三十六	巻九百三十七
巻九百三十八	巻九百三十九
巻九百四十	巻九百四十一
巻九百四十二	巻九百四十三
巻九百四十四	巻九百四十五
巻九百四十六	巻九百四十七
巻九百四十八	巻九百四十九
巻千	巻千一
巻千二	巻千三
巻千四	巻千五
巻千六	巻千七
巻千八	巻千九
巻千十	巻千十一
巻千十二	巻千十三
巻千十四	巻千十五
巻千十六	巻千十七
巻千十八	巻千十九
巻二千	巻二千一
巻二千二	巻二千三
巻二千四	巻二千五
巻二千六	巻二千七
巻二千八	巻二千九
巻二千十	巻二千十一
巻二千十二	巻二千十三
巻二千十四	巻二千十五
巻二千十六	巻二千十七
巻二千十八	巻二千十九
巻二千二十	巻二千二十一
巻二千二十二	巻二千二十三
巻二千二十四	巻二千二十五
巻二千二十六	巻二千二十七
巻二千二十八	巻二千二十九
巻三千	巻三千一
巻三千二	巻三千三
巻三千四	巻三千五
巻三千六	巻三千七
巻三千八	巻三千九
巻三千十	巻三千十一
巻三千十二	巻三千十三
巻三千十四	巻三千十五
巻三千十六	巻三千十七
巻三千十八	巻三千十九
巻三千二十	巻三千二十一
巻三千二十二	巻三千二十三
巻三千二十四	巻三千二十五
巻三千二十六	巻三千二十七
巻三千二十八	巻三千二十九
巻三千三十	巻三千三十一
巻三千三十二	巻三千三十三
巻三千三十四	巻三千三十五
巻三千三十六	巻三千三十七
巻三千三十八	巻三千三十九
巻四千	巻四千一
巻四千二	巻四千三
巻四千四	巻四千五
巻四千六	巻四千七
巻四千八	巻四千九
巻四千十	巻四千十一
巻四千十二	巻四千十三
巻四千十四	巻四千十五
巻四千十六	巻四千十七
巻四千十八	巻四千十九
巻四千二十	巻四千二十一
巻四千二十二	巻四千二十三
巻四千二十四	巻四千二十五
巻四千二十六	巻四千二十七
巻四千二十八	巻四千二十九
巻四千三十	巻四千三十一
巻四千三十二	巻四千三十三
巻四千三十四	巻四千三十五
巻四千三十六	巻四千三十七
巻四千三十八	巻四千三十九
巻四千四十	巻四千四十一
巻四千四十二	巻四千四十三
巻四千四十四	巻四千四十五
巻四千四十六	巻四千四十七
巻四千四十八	巻四千四十九
巻五千	巻五千一
巻五千二	巻五千三
巻五千四	巻五千五
巻五千六	巻五千七
巻五千八	巻五千九
巻五千十	巻五千十一
巻五千十二	巻五千十三
巻五千十四	巻五千十五
巻五千十六	巻五千十七
巻五千十八	巻五千十九
巻五千二十	巻五千二十一
巻五千二十二	巻五千二十三
巻五千二十四	巻五千二十五
巻五千二十六	巻五千二十七
巻五千二十八	巻五千二十九
巻五千三十	巻五千三十一
巻五千三十二	巻五千三十三
巻五千三十四	巻五千三十五
巻五千三十六	巻五千三十七
巻五千三十八	巻五千三十九
巻五千四十	巻五千四十一
巻五千四十二	巻五千四十三
巻五千四十四	巻五千四十五
巻五千四十六	巻五千四十七
巻五千四十八	巻五千四十九
巻六千	巻六千一
巻六千二	巻六千三
巻六千四	巻六千五
巻六千六	巻六千七
巻六千八	巻六千九
巻六千十	巻六千十一
巻六千十二	巻六千十三
巻六千十四	巻六千十五
巻六千十六	巻六千十七
巻六千十八	巻六千十九
巻六千二十	巻六千二十一
巻六千二十二	巻六千二十三
巻六千二十四	巻六千二十五
巻六千二十六	巻六千二十七
巻六千二十八	巻六千二十九
巻六千三十	巻六千三十一
巻六千三十二	巻六千三十三
巻六千三十四	巻六千三十五
巻六千三十六	巻六千三十七
巻六千三十八	巻六千三十九
巻六千四十	巻六千四十一
巻六千四十二	巻六千四十三
巻六千四十四	巻六千四十五
巻六千四十六	巻六千四十七
巻六千四十八	巻六千四十九
巻七千	巻七千一
巻七千二	巻七千三
巻七千四	巻七千五
巻七千六	巻七千七
巻七千八	巻七千九
巻七千十	巻七千十一
巻七千十二	巻七千十三
巻七千十四	巻七千十五
巻七千十六	巻七千十七
巻七千十八	巻七千十九
巻七千二十	巻七千二十一
巻七千二十二	巻七千二十三
巻七千二十四	巻七千二十五
巻七千二十六	巻七千二十七
巻七千二十八	巻七千二十九
巻七千三十	巻七千三十一
巻七千三十二	巻七千三十三
巻七千三十四	巻七千三十五
巻七千三十六	巻七千三十七
巻七千三十八	巻七千三十九
巻七千四十	巻七千四十一
巻七千四十二	巻七千四十三
巻七千四十四	巻七千四十五
巻七千四十六	巻七千四十七
巻七千四十八	巻七千四十九
巻八千	巻八千一
巻八千二	巻八千三
巻八千四	巻八千五
巻八千六	巻八千七
巻八千八	巻八千九
巻八千十	巻八千十一
巻八千十二	巻八千十三
巻八千十四	巻八千十五
巻八千十六	巻八千十七
巻八千十八	巻八千十九
巻八千二十	巻八千二十一
巻八千二十二	巻八千二十三
巻八千二十四	巻八千二十五
巻八千二十六	巻八千二十七
巻八千二十八	巻八千二十九
巻八千三十	巻八千三十一
巻八千三十二	巻八千三十三
巻八千三十四	巻八千三十五
巻八千三十六	巻八千三十七
巻八千三十八	巻八千三十九
巻八千四十	巻八千四十一
巻八千四十二	巻八千四十三
巻八千四十四	巻八千四十五
巻八千四十六	巻八千四十七
巻八千四十八	巻八千四十九
巻九千	巻九千一
巻九千二	巻九千三
巻九千四	巻九千五
巻九千六	巻九千七
巻九千八	巻九千九
巻九千十	巻九千十一
巻九千十二	巻九千十三
巻九千十四	巻九千十五
巻九千十六	巻九千十七
巻九千十八	巻九千十九
巻九千二十	巻九千二十一
巻九千二十二	巻九千二十三
巻九千二十四	巻九千二十五
巻九千二十六	巻九千二十七
巻九千二十八	巻九千二十九
巻九千三十	巻九千三十一
巻九千三十二	巻九千三十三
巻九千三十四	巻九千三十五
巻九千三十六	巻九千三十七
巻九千三十八	巻九千三十九
巻九千四十	巻九千四十一
巻九千四十二	巻九千四十三
巻九千四十四	巻九千四十五
巻九千四十六	巻九千四十七
巻九千四十八	巻九千四十九
巻十千	巻十千一
巻十千二	巻十千三
巻十千四	巻十千五
巻十千六	巻十千七
巻十千八	巻十千九
巻十千十	巻十千十一
巻十千十二	巻十千十三
巻十千十四	巻十千十五
巻十千十六	巻十千十七
巻十千十八	巻十千十九
巻二十千	巻二十千一
巻二十千二	巻二十千三
巻二十千四	巻二十千五
巻二十千六	巻二十千七
巻二十千八	巻二十千九
巻二十千十	巻二十千十一
巻二十千十二	巻二十千十三
巻二十千十四	巻二十千十五
巻二十千十六	巻二十千十七
巻二十千十八	巻二十千十九
巻二十千二十	巻二十千二十一
巻二十千二十二	巻二十千二十三
巻二十千二十四	巻二十千二十五
巻二十千二十六	巻二十千二十七
巻二十千二十八	巻二十千二十九
巻三十千	巻三十千一
巻三十千二	巻三十千三
巻三十千四	巻三十千五
巻三十千六	巻三十千七
巻三十千八	巻三十千九
巻三十千十	巻三十千十一
巻三十千十二	巻三十千十三
巻三十千十四	巻三十千十五
巻三十千十六	巻三十千十七
巻三十千十八	巻三十千十九
巻三十千二十	巻三十千二十一
巻三十千二十二	巻三十千二十三
巻三十千二十四	巻三十千二十五
巻三十千二十六	巻三十千二十七
巻三十千二十八	巻三十千二十九
巻四十千	巻四十千一
巻四十千二	巻四十千三
巻四十千四	巻四十千五
巻四十千六	巻四十千七
巻四十千八	巻四十千九
巻四十千十	巻四十千十一
巻四十千十二	巻四十千十三
巻四十千十四	巻四十千十五
巻四十千十六	巻四十千十七
巻四十千十八	巻四十千十九
巻四十千二十	巻四十千二十一
巻四十千二十二	巻四十千二十三
巻四十千二十四	巻四十千二十五
巻四十千二十六	巻四十千二十七
巻四十千二十八	巻四十千二十九
巻五十千	巻五十千一
巻五十千二	巻五十千三
巻五十千四	巻五十千五
巻五十千六	巻五十千七
巻五十千八	巻五十千九
巻五十千十	巻五十千十一
巻五十千十二	巻五十千十三
巻五十千十四	巻五十千十五
巻五十千十六	巻五十千十七
巻五十千十八	巻五十千十九
巻五十千二十	巻五十千二十一
巻五十千二十二	巻五十千二十三
巻五十千二十四	巻五十千二十五
巻五十千二十六	巻五十千二十七
巻五十千二十八	巻五十千二十九
巻六十千	巻六十千一
巻六十千二	巻六十千三
巻六十千四	巻六十千五
巻六十千六	巻六十千七
巻六十千八	巻六十千九
巻六十千十	巻六十千十一
巻六十千十二	巻六十千十三
巻六十千十四	巻六十千十五
巻六十千十六	巻六十千十七
巻六十千十八	巻六十千十九
巻六十千二十	巻六十千二十一
巻六十千二十二	巻六十千二十三
巻六十千二十四	巻六十千二十五
巻六十千二十六	巻六十千二十七
巻六十千二十八	巻六十千二十九
巻七十千	巻七十千一
巻七十千二	巻七十千三
巻七十千四	巻七十千五
巻七十千六	巻七十千七
巻七十千八	巻七十千九
巻七十千十	巻七十千十一
巻七十千十二	巻七十千十三
巻七十千十四	巻七十千十五
巻七十千十六	巻七十千十七
巻七十千十八	巻七十千十九
巻七十千二十	巻七十千二十一
巻七十千二十二	巻七十千二十三
巻七十千二十四	巻七十千二十五
巻七十千二十六	巻七十千二十七
巻七十千二十八	巻七十千二十九
巻八十千	巻八十千一
巻八十千二	巻八十千三
巻八十千四	巻八十千五
巻八十千六	巻八十千七
巻八十千八	巻八十千九
巻八十千十	巻八十千十一
巻八十千十二	巻八十千十三
巻八十千十四	巻八十千十五
巻八十千十六	巻八十千十七
巻八十千十八	巻八十千十九
巻八十千二十	巻八十千二十一
巻八十千二十二	巻八十千二十三
巻八十千二十四	巻八十千二十五
巻八十千二十六	巻八十千二十七
巻八十千二十八	巻八十千二十九
巻九十千	巻九十千一
巻九十千二	巻九十千三
巻九十千四	巻九十千五
巻九十千六	巻九十千七
巻九十千八	巻九十千九
巻九十千十	巻九十千十一
巻九十千十二	巻九十千十三
巻九十千十四	巻九十千十五
巻九十千十六	巻九十千十七
巻九十千十八	巻九十千十九
巻九十千二十	巻九十千二十一
巻九十千二十二	巻九十千二十三
巻九十千二十四	巻九十千二十五
巻九十千二十六	巻九十千二十七
巻九十千二十八	巻九十千二十九
巻百千	巻百千一
巻百千二	巻百千三
巻百千四	巻百千五
巻百千六	巻百千七
巻百千八	巻百千九
巻百千十	巻百千十一
巻百千十二	巻百千十三
巻百千十四	巻百千十五
巻百千十六	巻百千十七
巻百千十八	巻百千十九
巻百二十千	巻百二十千一
巻百二十千二	巻百二十千三
巻百二十千四	巻百二十千五
巻百二十千六	巻百二十千七
巻百二十千八	巻百二十千九
巻百三十千	巻百三十千一
巻百三十千二	巻百三十千三
巻百三十千四	巻百三十千五
巻百三十千六	巻百三十千七
巻百三十千八	巻百三十千九
巻百四十千	巻百四十千一
巻百四十千二	巻百四十千三
巻百四十千四	巻百四十千五
巻百四十千六	巻百四十千七
巻百四十千八	巻百四十千九
巻百五十千	巻百五十千一
巻百五十千二	巻百五十千三
巻百五十千四	巻百五十千五
巻百五十千六	巻百五十千七
巻百五十千八	巻百五十千九
巻百六十千	巻百六十千一
巻百六十千二	巻百六十千三
巻百六十千四	巻百六十千五
巻百六十千六	巻百六十千七
巻百六十千八	巻百六十千九
巻百七十千	巻百七十千一
巻百七十千二	巻百七十千三
巻百七十千四	巻百七十千五
巻百七十千六	巻百七十千七
巻百七十千八	巻百七十千九
巻百八十千	巻百八十千一
巻百八十千二	巻百八十千三
巻百八十千四	巻百八十千五
巻百八十千六	巻百八十千七
巻百八十千八	巻百八十千九
巻百九十千	巻百九十千一
巻百九十千二	巻百九十千三
巻百九十千四	巻百九十千五
巻百九十千六	巻百九十千七
巻百九十千八	巻百九十千九
巻二百千	巻二百千一
巻二百千二	巻二百千三
巻二百千四	巻二百千五
巻二百千六	巻二百千七
巻二百千八	巻二百千九
巻二百十千	巻二百十千一
巻二百十千二	巻二百十千三
巻二百十千四	巻二百十千五
巻二百十千六	巻二百十千七
巻二百十千八	巻二百十千九
巻二百二十千	巻二百二十千一
巻二百二十千二	巻二百二十千三
巻二百二十千四	巻二百二十千五
巻二百二十千六	巻二百二十千七
巻二百二十千八	巻二百二十千九
巻二百三十千	巻二百三十千一
巻二百三十千二	巻二百三十千三
巻二百三十千四	巻二百三十千五
巻二百三十千六	巻二百三十千七
巻二百三十千八	巻二百三十千九
巻二百四十千	巻二百四十千一
巻二百四十千二	巻二百四十千三
巻二百四十千四	巻二百四十千五
巻二百四十千六	巻二百四十千七
巻二百四十千八	巻二百四十千九
巻二百五十千	巻二百五十千一
巻二百五十千二	巻二百五十千三
巻二百五十千四	巻二百五十千五
巻二百五十千六	巻二百五十千七
巻二百五十千八	巻二百五十千九
巻二百六十千	巻二百六十千一
巻二百六十千二	巻二百六十千三
巻二百六十千四	巻二百六十千五
巻二百六十千六	巻二百六十千七
巻二百六十千八	巻二百六十千九
巻二百七十千	巻二百七十千一
巻二百七十千二	巻二百七十千三
巻二百七十千四	巻二百七十千五
巻二百七十千六	巻二百七十千七
巻二百七十千八	巻二百七十千九
巻二百八十千	巻二百八十千一
巻二百八十千二	巻二百八十千三
巻二百八十千四	巻二百八十千五
巻二百八十千六	巻二百八十千七
巻二百八十千八	巻二百八十千九
巻二百九十千	巻二百九十千一
巻二百九十千二	巻二百九十千三
巻二百九十千四	巻二百九十千五
巻二百九十千六	巻二百九十千七
巻二百九十千八	巻二百九十千九
巻三百千	巻三百千一
巻三百千二	巻三百千三
巻三百千四	巻三百千五
巻三百千六	巻三百千七
巻三百千八	巻三百千九
巻三百十千	巻三百十千一
巻三百十千二	巻三百十千三
巻三百十千四	巻三百十千五
巻三百十千六	巻三百十千七
巻三百十千八	巻三百十千九
巻三百二十千	巻三百二十千一
巻三百二十千二	巻三百二十千三
巻三百二十千四	巻三百二十千五
巻三百二十千六	巻三百二十千七
巻三百二十千八	巻三百二十千九
巻三百三十千	巻三百三十千一
巻三百三十千二	巻三百三十千三
巻三百三十千四	巻三百三十千五
巻三百三十千六	巻三百三十千七
巻三百三十千八	巻三百三十千九
巻三百四十千	巻三百四十千一
巻三百四十千二	巻三百四十千三
巻三百四十千四	巻三百四十千五
巻三百四十千六	巻三百四十千七
巻三百四十千八	巻三百四十千九
巻三百五十千	巻三百五十千一
巻





[illegible]……[illegible]
[illegible]……[illegible]
[illegible]……[illegible]

第十

ゆうきちゃん　勝田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん

第十一

ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん
ゆうきちゃん　山田……ゆうきちゃん

さ

さいかち……皂莢
さいかち……皂莢
さいかち……皂莢

かな

ページ　ページ

ページ　ページ

ページ　ページ

ゆるやかな
ゆるい
ゆるす……許
ゆるめる……緩
ゆるやか……緩
ゆるす……赦
ゆるす……免
ゆるす……容
ゆるす……許

ゆうしゅう……憂愁
ゆうしゅう……幽囚
ゆうしゅう……誘致
ゆうしゅう……郵便局
ゆうしゅう……優秀
ゆうしゅう……有終
ゆうしゅう……雄図
ゆうしゅう……豪傑
ゆうしゅう……優秀
ゆうしゅう……有終
ゆうしゅう……雄図
ゆうしゅう……豪傑
ゆうしゅう……優秀
ゆうしゅう……有終
ゆうしゅう……雄図
ゆうしゅう……豪傑
ゆうしゅう……優秀
ゆうしゅう……有終
ゆうしゅう……雄図
ゆうしゅう……豪傑

ゆ

ゆいいつむに……唯一無二
ゆいがどくそん……唯我独尊
ゆいごん……遺言
ゆいしょ……由緒
ゆいのう……結納
ゆいぶつしゅぎ……唯物主義
ゆいぶつろん……唯物論
ゆいぶん……遺文
ゆいぶん……遺文
ゆいぶん……遺文

なが

を

をがめ……小祿
をさは……小佐保
をす……小藪
をち……遠
をちかたびと……遠方人
をちこち……遠近
をちのすがもり……遠菅原
をつくもねろ……小筑波根
をてもとのも……此而彼面
をとこをみな……男女
をとめ……少女
をにひたやま……平岡比多夜麻
をぬのしたくさ……野原下草
をみのおほきみ……麻績王
をみのをとめ……麻績少女
をみのをとめ……麻績少女

たまぐれの
つまどもる
たまぐれの
うちはらす
ささまつく
さごろもの
むしばきの
ものゝふの
さにづらふ
たまもかる
さらさにぬ
さくらなの
うちそを
みなそこゝ
みなそこゝ

をし

を

をしきりの……寫眞
をさめらが……少女等
をのゝえの……斧柄
をばなかる……鬼花散
をみなへし……女郎花
をやまだの……小山田

まくらことば より
もとむ ぐき ことば

をしきりられを
そでふるやま
ほとゝぎす
まつくのたる
おもぬぐきみを
おとろらしのみ

日本大辭林後序

凡有文字之邦、無不有字書、字書猶博物館乎、採蒐愈博、資益愈大、漢土其著不尠、康熙字典、最稱大成、實爲藝苑至寶、本邦亦非無字書、而所載偏狹、概不過爲歌人徘客之具、猶一地方展覽場耳、本省嚮命物集高見、編日本大辭林、今也告竣、採蒐頗博、殆與彼字典駢美、余將比之帝國博物館也、

明治二十六年十二月

宮内大臣從二位勳一等子爵土方久元

明治廿七年六月九日印刷
明治廿七年六月十六日發行

宮内省

物集高見纂

エト6B52

明治四十年九月一日縮刷印刷
明治四十年九月五日縮刷發行

定價金貳圓

發行者並印刷者　合資會社吉川弘文館代表者
吉川半七
東京市京橋區南傳馬町一丁目十二番地

發行者　吉岡平助
大阪市東區備後町七十八番屋敷

發行者　林平次郎
東京市日本橋區數寄屋町九番地

印刷所　武木信賢
東京市神田區蠟燭町八番地

著作權所有

813.1
M897n
Ⓜ

078060-000-3

813.1-M897n

日本大辞林

物集　高見／編

M40

DAC-1569